

埼玉県埋蔵文化財調査事業報告書

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
1	清水谷・安光寺・北坂	1981	高速道（関越自動車道）	岡部町	旧石器・縄文・古墳・平安	
2	桜山古墳群	1981	住宅（高坂丘陵地区）	東松山市	古墳	
3	倉林後遺跡	1981	学校（県立児玉農工高）	児玉町	古墳	
4	上ノ台遺跡	1981	博物館（自然史博物館）	長瀬町	縄文・古墳	
5	増善寺遺跡	1982	県道（坂戸寄居）	寄居町	縄文	
6	塚窪遺跡2	1982	学校（県立所沢高）	所沢市	旧石器・縄文	
7	桜山窯跡群	1982	住宅（高坂丘陵地区）	東松山市	縄文・古墳	
8	下南原	1982	国道（140号）	花園町	縄文	
9	新ヶ谷戸	1982	国道（深谷バイパス）	熊谷市	古墳・奈良・平安・近世	
10	上南原	1982	国道（140号）	花園町	縄文・平安	
11	伴六	1982	県営団地（毛呂山）	毛呂山町	平安・中世	
12	衆生ヶ谷戸	1982	県営団地（都幾川明覚）	都幾川村	縄文・古墳・中世	
13	中郷	1982	高速道（関越自動車道）	嵐山町	縄文	
14	白幡本宿	1982	学校（県立浦和商业高）	さいたま市	中世	
15	後張	1982	高速道（関越自動車道）	児玉町	古墳・平安・中近世	
16	沼下・平原・新堀・中山・お金塚・中井丘・鶴巻・水久保・猪久保遺跡	1982	高速道（関越自動車道）	寄居町	旧石器・縄文・平安・中近世	
17	大山	1983	病院（ガンセンター）	伊奈町	縄文・古墳・平安	
18	下椿	1983	国道（4号）	杉戸町	古墳・中近世	
19	緑山遺跡	1983	住宅（高坂丘陵地区）	東松山市	縄文・古墳・奈良	
20	菟田・鶴田	1983	国道（254号）	東松山市	縄文・弥生・古墳	
21	池上西	1983	国道（熊谷バイパス）	熊谷市	弥生	
22	天神林・高野谷戸	1983	新幹線（上越）	上里町	縄文・古墳・奈良	
23	三ヶ尻天王・三ヶ尻林(1)遺跡	1983	新幹線（上越）	熊谷市	縄文・古墳・近世	
24	ささら・帆立・馬込新屋敷・馬込大原	1983	国道（122号）	蓮田市	旧石器・古墳・近世	
25	塚屋・北塚屋	1983	国道（140号）	寄居町	縄文	
26	後張	1983	高速道（関越自動車道）	児玉町	古墳・平安・中近世	
27	台耕地1	1983	高速道（関越自動車道）	花園町	縄文	
28	若宮台	1983	高速道（関越自動車道）	上里町	縄文・弥生・古墳・奈良・平安	
29	久保山	1983	新幹線（東北）	伊奈町	旧石器・縄文・中近世	
30	中原前・駒前	1983	県道（大宮東京）	さいたま市	縄文・平安・近世	
31	赤羽・伊奈氏屋敷跡	1984	新幹線（東北）	伊奈町	旧石器・縄文・古墳・平安・中近世	
32	屋田・寺ノ台	1984	高速道（関越自動車道）	滑川町	縄文・弥生・古墳・中近世	
33	台耕地2	1984	高速道（関越自動車道）	花園町	古墳・平安	
34	三ヶ尻林(2)・台	1984	新幹線（上越）	熊谷市	縄文・古墳・奈良・中世	
35	明花向・明花上ノ台・井沼方馬堤・とうのこし	1984	住宅（浦和南部地区）	さいたま市	旧石器・縄文・弥生・弥生・中近世	
36	久台	1984	国道（122号）	蓮田市	旧石器・縄文	
37	古凍根岸裏	1984	国道（川島バイパス）	東松山市	古墳・中近世	
38	向田・権現塚・村後	1984	県道（蛭川普濟寺）	美里町	弥生・古墳・奈良・平安・近世	
39	中原後・石御堂	1984	県道（大宮東京）	さいたま市/川口市	縄文・古墳・平安・中近世	
40	閩戸足利	1984	国道（122号）	蓮田市	旧石器・中近世	
41	向原・上新田・西浦	1984	新幹線（上越）	伊奈町	旧石器・縄文・弥生・近世	
42	原・丸山	1985	新幹線（上越）	伊奈町	縄文・古墳・平安・近世	
43	三番耕地・十八番耕地・十二番耕地・神山	1985	新幹線（東北）	上尾市	旧石器・縄文・古墳・平安・近世	

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
44	大光寺裏	1985	橋梁改築（高崎線神流川）	上里町	中近世	
45	鶴ヶ丘（E区）	1985	住宅（川越鶴ヶ島地区）	鶴ヶ島市	旧石器・縄文・古墳・平安	
46	立野南・八幡太神南・熊野太神南・今井遺跡群・一丁田・川越田・梅沢	1985	工業団地（児玉）	上里町/ 本庄市/ 児玉町	古墳・奈良・平安・中世	
47	ささら(2)	1985	国道（122号）	蓮田市	縄文・平安	
48	北塚屋2	1985	国道（140号）	寄居町	縄文	
49	太田遺跡	1985	県道（古河加須）	北川辺町	古墳・奈良・平安・中近世	
50	大林1・大林2・宮林・下南原	1985	国道（140号）	川本町/ 花園町	縄文・古墳・中近世	
51	愛宕通遺跡	1985	県道（上新郷埼玉）	行田市	縄文・古墳・平安	
52	猿貝北・道上・新町口	1985	国道（298号）	川口市	旧石器・縄文・平安・近世	
53	蜻蛉遺跡	1985	河道改修（辰井川）	草加市	古墳・平安・中近世	
54	白鳥田遺跡	1985	国道（125号）	行田市	縄文	
55	札之辻・小井戸	1986	新幹線（東北）	さいたま市	旧石器・縄文・古墳・奈良・中近世	
56	須黒神社遺跡	1986	新幹線（東北）	さいたま市	旧石器・縄文・弥生・古墳・近世	
57	中矢下・夕日ノ沢・上前原沢・芝口ヲネ・後山北谷・滝尾塚	1986	住宅（飯能南台地区）	飯能市	旧石器・縄文・平安・近世	
58	小前田古墳群	1986	国道（140号）	寄居町/ 花園町	古墳	
59	樋の上	1986	学校（県立熊谷西高）	熊谷市	古墳・奈良・平安・中世	
60	中砂遺跡	1986	学校（県立所沢西高）	所沢市	旧石器・縄文・近世	
61	猿貝北・新町口	1986	国道（298号）	川口市	旧石器・縄文・平安・近世	
62	鍛冶谷・新田口	1986	新幹線（東北）	戸田市	縄文・弥生・古墳・平安・中近世	
63	将監塚 一縄文時代	1986	工業団地（児玉）	本庄市	旧石器・縄文	
64	将監塚・古井戸 古墳・歴史時代編1	1986	工業団地（児玉）	本庄市	古墳・奈良・平安・中近世	
65	神明・矢垂	1987	新幹線（東北）	さいたま市	縄文・弥生・古墳・平安・中近世	
66	北・八幡谷・相野谷	1987	新幹線（上越）	伊奈町	旧石器・縄文・弥生・中近世	
67	下道添遺跡	1987	国道（254号）	東松山市	縄文・弥生・古墳・古墳	
68	女堀2・東女堀原	1987	住宅（霞ヶ関）	川越市	弥生・平安・近世	
69	下辻遺跡	1987	県道（三ヶ尻新堀）	熊谷市	縄文	
70	小山ノ上遺跡	1988	県道（堀兼根岸）	狭山市	縄文・奈良・平安	
71	将監塚・古井戸 歴史時代編2	1988	工業団地（児玉）	本庄市	奈良・平安	
72	姥原遺跡	1988	施設（自治セミナーハウス）	荒川村	縄文・弥生・平安	
73	井沼方馬堤遺跡	1988	住宅（浦和南部地区）	さいたま市	近世	
74	赤城遺跡	1988	工業団地（川里）	川里村	縄文・古墳・奈良・近世	
75	古井戸 一縄文時代	1989	工業団地（児玉）	児玉町	縄文	
76	中三谷遺跡	1989	警察（免許センター）	鴻巣市	旧石器・古墳・中世	
77	八本木遺跡	1989	国道（298号）	川口市	縄文・平安・近世	
78	本郷前東遺跡	1989	県道（深谷妻沼）	深谷市	縄文・古墳・平安	
79	御伊勢原遺跡	1989	住宅（霞ヶ関）	川越市	旧石器・縄文・古墳・中近世	
80	上組2	1989	住宅（霞ヶ関）	川越市	旧石器・縄文・弥生・古墳・中近世	
81	北島遺跡	1989	公園（スポーツ文化公園）	熊谷市	古墳～奈良・平安・中世	
82	光屋敷遺跡	1989	県道（弥藤吾行田）	熊谷市	中近世	
83	西原遺跡	1989	県道（熊谷小川秩父）	江南町	縄文・古墳・平安	
84	大山遺跡	1989	病院（精神医療センター）	伊奈町	旧石器・縄文	
85	新田裏・明戸東・原遺跡	1989	国道（深谷バイパス）	深谷市	縄文・弥生・古墳・中近世	
86	金井遺跡	1989	住宅（坂戸入西地区）	坂戸市	古墳・奈良・中世	

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
87	下段遺跡	1989	施設（自治セミナーハウス）	荒川村	縄文・弥生・平安・近世	
88	北島遺跡2	1989	公園（スポーツ文化公園）	熊谷市	古墳・奈良・平安・中近世	
89	広面遺跡	1990	住宅（坂戸入西地区）	坂戸市	古墳・中近世	
90	玉太岡遺跡	1990	県道（青山熊谷）	東松山市	旧石器・縄文～古墳・平安・中世	
91	八木上遺跡	1990	国道（299号）	狭山市	縄文・近世	
92	提灯木山遺跡	1990	県道（東松山桶川）	桶川市	旧石器・縄文・近世	
93	雅楽谷遺跡	1990	学校（県立蓮田養護）	蓮田市	縄文	
94	東川端遺跡	1990	県道（弁財深谷）	深谷市	縄文・古墳・奈良・平安	
95	小敷田遺跡	1991	国道（熊谷バイパス）	行田市/熊谷市	縄文・弥生・古墳・奈良・平安	
96	宮町遺跡1	1991	県道（上伊草坂戸）	坂戸市	縄文・奈良・平安・中世	
97	宮町遺跡2	1991	県道（上伊草坂戸）	坂戸市	奈良・平安	
98	山王裏・中原	1991	国道（254号）	東松山市	古墳・奈良・平安	
99	堂山下遺跡	1991	学校（県立毛呂山養護）	毛呂山町	中世	
100	小沼耕地遺跡	1991	学校（県立騎西養護）	騎西町	古墳・中世	
101	塚の越遺跡	1991	住宅（坂戸入西地区）	坂戸市	縄文・古墳・奈良・平安・中世	
102	樋詰・砂田前	1991	国道（深谷バイパス）	岡部町	縄文～平安・近世	
103	北島遺跡3	1991	公園（スポーツ文化公園）	熊谷市	弥生・古墳・奈良・平安・中世	
104	児沢北遺跡	1991	博物館（平和資料館）	東松山市	平安	
105	竹之花・下大塚・円阿弥遺跡	1991	工業団地（川本）	川本町	旧石器・縄文～平安・近世	
106	向山遺跡	1991	施設（理化学研究所）	和光市	縄文	
107	在家	1991	県営団地（丸山）	上尾市	縄文・中世	
108	下山田遺跡	1991	県道（新川越坂戸毛呂山）	坂戸市	縄文	
109	大門南遺跡	1991	施設（県民劇場）	さいたま市	縄文・中世	
110	代正寺・大西	1991	国道（407号）	東松山市	縄文～近世	
111	新屋敷東・本郷前東	1992	国道（深谷バイパス）	深谷市	縄文・古墳・奈良・平安・中近世	
112	荒川附遺跡	1992	国道（122号）	蓮田市	縄文・古墳・奈良・平安・近世	
113	丙新田遺跡	1991	国道（299号バイパス）	飯能市	縄文・近世	
114	大杉・岡原・蟹山	1991	県道（本田小川）	小川町	縄文・奈良・平安・中近世	
115	東谷遺跡	1992	県道（川越上尾）	上尾市	縄文	
116	伊佐島遺跡	1992	県道（東大久保大井）	上福岡市	弥生・平安・中世	
117	薬師堂遺跡	1992	施設（日中友好記念館）	両神村	縄文	
118	白草遺跡2	1992	工業団地（川本）	川本町	弥生・古墳・平安・中世	
119	蟹沢・尺尻・尺尻北・芳沼入・芳沼入下・大野田・新田坊	1992	工業団地（嵐山）	嵐山町	縄文・弥生・奈良・平安	
120	稲荷前遺跡（A区）	1992	住宅公園（坂戸入西地区）	坂戸市	古墳・奈良・平安・中世	
121	桑原遺跡	1992	住宅公園（坂戸入西地区）	坂戸市	古墳・奈良・平安・中世	
122	四本竹遺跡	1992	調節池（芝川見沼第1）	さいたま市	縄文・中・近世	
123	新屋敷遺跡（B区）	1992	保健所（鴻巣保健所）	鴻巣市	縄文・古墳・中世	
124	狐塚遺跡	1993	県営団地（桶川川田谷）	桶川市	縄文・古墳・中・近世	
125	中耕遺跡	1993	住宅（坂戸入西地区）	坂戸市	縄文・古墳	
126	砂田・柳町・ウツギ内	1993	国道（上武）	深谷市	古墳・奈良・平安・中世	
127	原ヶ谷戸・滝下	1993	国道（深谷バイパス）	岡部町	縄文・古墳～平安	
128	上敷免遺跡	1993	国道（深谷バイパス）	深谷市	縄文～近世	
129	白草遺跡1・北篠場遺跡	1993	工業団地（川本）	川本町	旧石器・縄文・平安	

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
130	四反歩遺跡	1993	工業団地(川本)	川本町	弥生・奈良・近世	
131	谷津・二反田・下向山	1993	国道(圏央道)	日高市	旧石器・縄文・平安・中近世	
132	水判土堀の内・林光寺・根切	1993	河川改修(鴨川)	さいたま市	古墳・奈良・平安・中近世	
133	大沼遺跡	1993	公園(森林公園)	滑川町	古墳・奈良・平安	
134	花ノ木・向原・柿ノ木坂・水久保・丸山台	1994	国道(外環道)	和光市	旧石器・縄文～近世	
135	樋ノ下遺跡	1994	住宅(リバーサイド玉淀)	寄居町	縄文・縄文	
136	足洗遺跡	1994	住宅(坂戸入西地区)	坂戸市	縄文・古墳・奈良・中世	
137	光山遺跡群	1994	国道(圏央道)	川越市/鶴ヶ島市	旧石器・縄文・古墳・奈良・中近世	
138	大野田西遺跡	1994	工業団地(嵐山)	嵐山町	縄文・弥生・奈良	
139	稲荷台遺跡	1994	病院(リハビリセンター)	上尾市	縄文・古墳・平安	
140	新屋敷遺跡(A区)	1994	警察(鴻巣警察署)	鴻巣市	縄文・古墳・平安・中近世	
141	榎戸遺跡	1994	県道(上尾久喜)	蓮田市	縄文・中世	
142	清橋遺跡	1994	国道(463号)	所沢市	旧石器	
143	桜沢窯跡	1994	施設(寄居地区集団設置建物)	寄居町	縄文・平安	
144	原山坊ノ在家遺跡	1994	県営団地(原山四丁目)	さいたま市	縄文	
145	稲荷前遺跡(B・C区)	1994	住宅(坂戸入西地区)	坂戸市	古墳～平安・中近世	
146	金井遺跡(B区)	1994	住宅(坂戸入西地区)	坂戸市	飛鳥～奈良・平安・中世	
147	田島・棚田	1995	住宅(坂戸入西地区)	坂戸市	古墳・平安・中世	
148	森下・戸森松原・起会	1995	国道(深谷バイパス)	深谷市	古墳・奈良・平安	
149	矢島南遺跡	1994	国道(深谷バイパス)	深谷市	縄文・古墳・奈良・平安	
150	城北遺跡	1995	国道(上武)	深谷市	古墳・平安	
151	居立・前	1995	国道(上武)	深谷市	古墳・奈良・平安・中近世	
152	清水上遺跡	1994	国道(上武)	深谷市	古墳～奈良・中・近世	
153	根絡・横間栗・関下	1995	国道(上武)	熊谷市	縄文・弥生・古墳・奈良・平安	
154	柳戸/新山/向山/青棚/光山遺跡群	1995	国道(圏央道)	鶴ヶ島市	旧石器・縄文・弥生・奈良・中近世	
155	向山/上原/向原	1995	国道(圏央道)	日高市	旧石器・縄文・平安・近世	
156	西久保/金井上	1995	国道(圏央道)	狭山市	旧石器・縄文・平安・中近世	
157	上太寺遺跡	1994	土地開発(埼玉マシン跡地代替地)	さいたま市	旧石器・縄文・中近世	
158	修理山遺跡	1995	住宅(ファミリータウン藤の里)	騎西町	縄文・古墳・中近世	
159	中妻三丁目遺跡	1994	住宅(上尾中妻団地)	上尾市	旧石器・縄文	
160	上内手遺跡	1995	県道(東大久保大井)	富士見市	古墳・平安・中近世	
161	海老沼南遺跡	1995	住宅(大宮南中野)	さいたま市	縄文・弥生・平安	
162	桜山遺跡	1995	病院(小原循環器センター)	江南町	奈良	
163	横田遺跡	1995	国道(圏央道)	鶴ヶ島市	旧石器・縄文・奈良・中世・近世	
164	丸山/青梅道南/十文字原/東武蔵野/西武蔵野	1996	国道(圏央道)	入間市	旧石器・縄文・近世	
165	八木上/八木/八木前/上広瀬北/森坂北/森坂	1996	国道(圏央道)	狭山市/入間市	縄文・奈良・平安・中近世	
166	坂東山/坂東山西/後B	1996	国道(圏央道)	入間市/鶴ヶ島市	旧石器・縄文～平安・中世	
167	山王裏遺跡	1995	国道(254号)	東松山市	奈良・平安・中近世	
168	堂山公園/久台	1995	国道(122号)	蓮田市	縄文・平安・近世	
169	菅原遺跡	1996	県道(中瀬普濟寺)	岡部町	縄文・縄文後・平安・中近世	
170	広木上宿遺跡 一古代・中世編一	1996	県道(広木末野)	美里町	古墳・奈良・平安・中世	
171	栗屋/屋淵/中台	1996	県道(飯能寄居)	飯能市	旧石器・縄文・近世以降	
172	宮ヶ谷戸/根岸/八日市/城西	1995	河川改修(福川)	深谷市	縄文・古墳～近世	

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
173	今羽丸山遺跡	1996	県営団地（大宮今羽）	さいたま市	旧石器・縄文・弥生・平安・中近世	
174	深谷城跡	1996	警察（県警北部機動センター）	深谷市	縄文・古墳・平安・中近世	
175	新屋敷遺跡C区	1996	住宅（鴻巣新屋敷）	鴻巣市	旧石器・縄文・古墳・平安・中近世	
176	中里前原北遺跡	1996	県営団地（中里）	さいたま市	縄文・弥生・その他	
177	今井川越田遺跡	1995	工業団地（今井）	本庄市	古墳・平安	
178	今井川越田遺跡2	1996	工業団地（今井）	本庄市	古墳	
179	原／谷畑	1997	土地区画整理（伊奈特定）	伊奈町	旧石器・縄文・中近世	
180	大山遺跡 第9次	1996	病院（がんセンター）	伊奈町	縄文・古墳・平安	
181	五関中島／堤根	1996	調節池（荒川第2）	さいたま市	弥生・古墳・平安・中世	
182	石神貝塚	1997	県道（大宮鳩ヶ谷）	川口市	旧石器・縄文・中世	
183	滝の宮坂遺跡	1997	県道（川越栗橋）	桶川市	旧石器・縄文・古墳・近世	
184	山王裏／上川入／西浦／野本氏館跡	1997	国道（407号）	東松山市	旧石器～近世	
185	広木上宿遺跡 一縄文時代編一	1997	県道（広木末野）	美里町	縄文	第170集広木上宿遺跡の縄文時代編。縄文時代中期住居跡17軒、土壌13基、埋甕1基。
186	東町二丁目遺跡	1997	県営団地（上尾東町）	上尾市	縄文・古墳・中世	縄文時代中期の住居跡14軒、古墳時代前期の方形周溝墓3基、中世の竪穴状遺構1基。
187	戸崎前遺跡	1997	土地区画整理（伊奈特定）	伊奈町	旧石器～近世	
188	築道下遺跡1	1997	工業団地（行田南部）	行田市	古墳奈良・中世	古墳時代後期～奈良時代の住居跡93軒、掘立柱建物跡45棟他、中世火葬墓2基、土壌2基、井戸跡59基。奈良時代土壌より須恵器漆壺出土。
189	富士見一丁目遺跡	1998	住宅（鶴ヶ島市富士見地区）	鶴ヶ島市	旧石器・奈良・平安・近世近代	
190	中堀遺跡	1997	調節池（御陣場川堤）	上里町	縄文・古墳・奈良・平安・中世	
191	今井川越田遺跡3	1997	工業団地（本庄今井）	本庄市	古墳・平安・中世	6世紀代とみられる道路跡、古墳時代後期の住居跡112軒、土器集中地区1箇所、河川跡から祭祀に使用したとみられる完形の土器が多数出土。
192	今井条里遺跡	1998	工業団地（本庄今井）	本庄市	弥生・古墳～奈良・平安・中近世	埼玉県北部地域における条里遺構の発掘調査。古墳時代前期から江戸時代に至る4つの遺構面から水田、畦畔を検出。
193	地神・塔頭	1998	工業団地（本庄今井）	本庄市	古墳・奈良・平安・中世	第192集今井条里遺跡の北側に隣接。地神遺跡からは、古墳時代前期住居跡13軒、土壌2基、倒木痕2基。隣接する倒木痕から古墳時代前期の土器が大量に出土。奈良・平安時代の住居跡34軒、掘立柱建物3棟。／塔頭遺跡からは古墳前期住居跡1軒、奈良・平安時代の住居跡2軒。中世の遺構は両遺跡に広く分布している。竪穴状遺構2軒、土壌720基（うち216基は土壌墓）、井戸16基。土壌墓からは青磁、古銭等、井戸からは五輪塔などの石塔類、古銭、髪搔等出土。
194	新屋敷遺跡D区	1998	施設（大蔵省鴻巣宿舎）	鴻巣市	旧石器・縄文・古墳・平安・中近世	既刊、『新屋敷遺跡』の続編。先土器時代から江戸時代にわたる複合遺跡の調査報告書。ナイフ形石器を主体とする石器集中3箇所、礫群7基を検出。帆立貝形前方後円墳を含む25基の古墳からは多量の埴輪・土器が出土し、「鹿」の絵を描いた紡錘車や鈴鏡など注目すべき遺物も豊富である。また、70軒を数える平安時代の竪穴住居跡が検出された。江戸時代は掘立柱建物跡、柵列、井戸、溝で構成される屋敷跡が検出されている。
195	北島遺跡4	1998	調節池（上之）	熊谷市	縄文・弥生・古墳・奈良～中世	グリットから縄文時代晩期末の土器出土。弥生時代中期の住居1軒、及び再葬墓1基と土壌墓群を検出。中心は奈良から平安時代で住居跡約117軒、掘立柱建物67棟。大型掘立柱建物跡を迂回する道路状遺構が検出された。平安時代（9世紀代）の住居跡から蓮とみられる花卉が線刻された石製紡錘車が出土。
196	末野遺跡1	1998	県道（広木折原）	寄居町	古墳・平安・縄文	
197	宿東遺跡	1998	国道（407号）	日高市	縄文	
198	砂田前遺跡	1998	国道（17号道の駅）	岡部町	縄文・古墳	古墳時代後期住居跡87軒、掘立柱建物跡6棟、土壌15基。多数の土師器、300個以上の編物石、100個以上の土錘。また1軒の住居跡からは100個の白玉が出土。結語は古墳時代後期の土器編年、編物石等。
199	築道下遺跡2	1998	工業団地（行田南部）	行田市	古墳・中世	
200	薬師堂根遺跡	1998	土地区画整理（伊奈特定）	伊奈町	縄文・古墳・平安・中近世	縄文時代早期住居跡4軒、炉跡11基、中期住居跡25軒、土壌102基、古墳時代初頭住居跡8軒、中世・近世の掘立柱建物跡21棟、井戸44基、土壌709基、溝27条。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
201	南久我原遺跡	1998	県道（大宮上福岡所沢）	川越市	古墳・平安・中近世	古墳周溝1基、平安時代掘立柱建物跡1棟、古墳周溝最下層から古墳時代前期の器台、中層から後期の横瓶出土。結語は、埼玉県内出土の「横瓶」を集成し、その特徴をまとめる。
202	中台遺跡	1998	国道（299号）	飯能市	旧石器・縄文・中近世	旧石器時代石器集中4箇所、縄文時代住居跡3軒、土壇9基。
203	大杉遺跡	1998	県道（本田小川）	小川町	平安	平安時代住居跡2軒、掘立柱建物跡1棟、土壇4基。
204	耕地遺跡	1998	県道（小川環状1号線）	小川町	古墳・奈良・平安	古墳時代後期から平安時代の住居跡10軒。結語は出土遺物による該期の住居跡時期区分等。
205	樋の上／皇山	1998	学校（県立熊谷西・浦和西高）	熊谷市／さいたま市	縄文・平安・中近世	樋の上遺跡：平安時代住居跡2軒、中世溝跡6条、土壇13基、灰釉陶器等出土。／皇山遺跡：縄文時代前期土壇7基。
206	外東／神田天神後／大久保条里	1999	調節池（荒川第2）	さいたま市	弥生～古墳・奈良・平安・中近世	外東遺跡：弥生時代後期から古墳時代前期の周溝16条、溝14条、土壇10基、古墳時代後期の古墳1基、奈良・平安時代住居跡12軒／神田天神後遺跡：弥生時代後期土壇3基、古墳時代前期住居跡8軒、後期住居跡1軒、平安時代住居跡1軒、掘立柱建物跡1棟。／大久保条里遺跡：平安時代から中世の溝122条、畦畔11条、土壇30基、竪穴状遺構1基。
207	末野遺跡2	1999	県道（広木折原）	寄居町	古墳～平安・平安・縄文・中世	既刊の末野窯跡群の調査報告書続編であり、古墳時代末期から平安時代の灰原1箇所、粘土採掘坑、及び平安時代窯跡1基、住居跡5軒。灰原から多数の須恵器、獣脚硯の一部を検出。
208	根際遺跡	1998	県道（玉川坂戸）	玉川村	縄文・平安・中世～近世	
209	妙音寺／妙音寺洞穴	1999	国道（140号）	皆野町	縄文・中近世	
210	宮地墓地遺跡	1998	県道（秩父児玉）	皆野町	近世	
211	城見上／末野3／花園城跡／箱石	1999	県道（広木折原）	寄居町	旧石器・縄文・古墳～近世	
212	大道東遺跡	1998	河川改修（芝川）	さいたま市	縄文	
213	下向沢／中原	1998	県道（所沢堀兼狭山）	狭山市	縄文	下向沢遺跡において縄文時代の中期末葉と考えられる住居跡7軒、落とし穴状土壇2基、集石土壇1基を含む5基、単独のピット19基を検出。
214	宿北5遺跡	1999	県道（川越上尾）	上尾市	旧石器・縄文・中近世	旧石器時代石器集中2箇所、礫群3箇所、縄文時代前期住居跡1軒、後期4軒、中期後半から後期前半の土壇47基、中世の土壇と溝。
215	膳棚東遺跡	1999	都市計画道路（飯能所沢）	所沢市	縄文・古墳・中世	縄文時代の住居跡5軒、うち中期は2軒で有孔鋸付土器が出土。古墳時代後期の古墳跡1基、中世の炭焼窯状遺構1基。
216	下ノ台遺跡	1998	県営団地（秩父市久那）	秩父市	古代～近世	
217	岡部条里／戸森前	1999	河川改修（福川）	深谷市	古墳・奈良・平安	岡部条里遺跡：古墳時代後期の住居跡、奈良時代水田跡、平安時代住居跡、掘立柱建物跡等。「居宅」と考えられる遺構群を検出。灰釉陶器、墨書土器出土。／戸森前遺跡：古墳時代住居跡等。竈出現期の好資料。
218	戸崎前2／薬師堂根2	1999	土地区画整理（伊奈特定）	伊奈町	縄文・古墳・奈良・平安・中近世	戸崎前遺跡：縄文時代の住居跡6軒のうち2軒は柄鏡形住居、古墳時代前期の住居跡45軒、方形周溝墓1基、奈良・平安時代住居跡4軒のうち1軒から「壺G」を検出。中・近世の土壇130基、溝20条、地下式坑1基から、陶磁器が多量に出土。／薬師堂根遺跡：古墳時代住居跡1軒、土壇1基、中・近世の土壇19基、溝7条。
219	八ツ島遺跡	1998	工業団地（行田南部）	行田市	奈良・平安～中世	既刊の築道下遺跡と同一の集落で、奈良・平安時代掘立柱建物1棟、住居跡34軒、奈良～中世の土壇187基、井戸跡23井、茶毘跡1基。
220	在家遺跡	1998	住宅（フレッシュタウンかごはら）	熊谷市	奈良・平安・中世	奈良・平安時代住居跡3軒、掘立柱建物2棟、土壇3基、中世井戸跡1基、掘立柱建物3棟、ピット群。鉄製窯、鉄鏃、土錘、墨書土器出土。
221	要害山城跡	1998	県道（長瀬玉淀自然公園）	寄居町	中世	
222	私市城武家屋敷跡	1999	施設（騎西郵便局庁舎）	騎西町	縄文・中近世	
223	御林下遺跡	1998	水道（調圧水槽）	児玉町	古墳・奈良・平安・中世	小さな谷を挟んだ東に阿知越遺跡が隣接。古墳時代後期終末から平安時代初期の住居跡7軒、掘立柱建物跡1棟、中・近世の土壇25基。椀形精錬鉄滓出土から近隣に鍛冶関連遺構の存在の可能性が高い。
224	西富田・四方田条里遺跡	1999	河川改修（女堀川）	本庄市	縄文・古墳・奈良・中世～近世	縄文時代加曽利E式期住居跡3軒、古墳時代前期住居跡1軒及び奈良・平安時代溝跡約20条、河川跡などを検出。北陸系を含む土器の良好な一括資料が出土。
225	折原石道遺跡	1999	県道（広木折原）	寄居町	平安・中世～近世	平安時代の住居跡4軒、土器焼成遺構1基、土器焼成関連遺構1基、土壇15基、中世～近世土壇36基、溝跡2条、道路状遺構1ヶ所。
226	宮ノ後遺跡	1998	県道（飯能寄居）	日高市	奈良	奈良時代の住居跡6軒、掘立柱建物跡2棟、中・近世の土壇3基。青銅製の帯金具巡方、「部」、「工下」などの墨書土器出土。南比企産須恵器の成形技術と法量についての考察。
227	白鍬宮腰遺跡	1998	県営団地（浦和白鍬）	さいたま市	旧石器・縄文・古墳～近世	縄文時代中期後半の炉体土器をもつ住居跡1軒、古墳時代前期住居跡8軒、後期の古墳跡7基、奈良・平安時代掘立柱建物1棟。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
228	中里前原遺跡	1999	県営団地（与野中里）	さいたま市	縄文・弥生	縄文時代早期炉穴跡4基、中期住居跡6軒、弥生時代後期住居跡18軒、弥生後期方形周溝墓2基。弥生時代後期住居跡から双角有孔土製品、方形周溝墓から銅鍬が出土。
229	小村田西／小村田／関東	1998	高速道（首都高速道大宮線、与野大宮大通線）	さいたま市	旧石器・縄文・古墳・近世	小村田西遺跡：近世以降の土壌1基、溝4条。／小村田遺跡：縄文時代集積遺構1基、近世以降の土壌1基、溝2条。／関東遺跡：先土器時代石器集中1箇所、古墳時代前期初頭の方形周溝墓9基、溝1条、近世以降の土壌28基。
230	馬場裏遺跡	1999	学校（県立行田進修館高校）	行田市	縄文・奈良・平安・中近世	奈良・平安時代住居跡5軒、中・近世の火葬跡2基、溝14条、井戸6基、土壌12基及びピット249基。中世の溝から平安時代とみられる入母屋造りの瓦堂が出土。
231	沖田1／沖田2／沖田3	1998	工業団地（岡部町西部）	岡部町	縄文・古墳・平安・中近世	沖田Ⅰ遺跡：縄文時代前期住居跡6軒、古墳時代住居跡5軒、平安時代土壌等。／沖田Ⅱ遺跡：縄文時代河川跡、平安時代土壌、溝。／沖田Ⅲ遺跡：縄文時代前期住居跡3軒、古墳時代方形周溝墓7基、住居跡10軒他。／岡部町西部工業団地内の調査。縄文時代前期、黒浜式から諸磯a式の良好な資料が出土。
232	菖蒲城跡	1999	主要地方道（川越栗橋）	菖蒲町	縄文・平安・中世	
233	向原／相野谷	2000	土地区画整理（伊奈特定）	伊奈町	旧石器・縄文・古墳～近世	向原遺跡：旧石器時代石器集中11箇所、縄文時代中・後期住居跡、古墳時代前期住居跡・方形周溝墓、奈良・平安時代住居跡他。／相野谷遺跡：縄文時代ファイヤーピット6基、中近世土壌他。北足立郡伊奈町に所在する。石器集中は今後の調査で範囲の拡大が予想される。古墳時代前期集落は大宮台地中央部における典型的な遺跡と評価できる。平安時代の住居跡からは常陸産須恵器坏が出土。
234	長沖古墳群	1999	県道（秩父児玉）	児玉町	古墳・中世・近世	縄文時代前期諸磯c式期の住居跡、古墳時代前期住居跡5軒、古墳2基、近世土壌群、道路状遺構等。古墳群の性格や埴輪等について考察する。
235	道合中／光明寺	2000	都市計画道路（西停車場線）	久喜市	縄文・縄文・中近世	
236	道合高木前遺跡	2000	都市計画道路（大宮東京線）	川口市	縄文・古墳・平安・中近世	
237	戸張／中原	1999	県道（所沢堀兼狭山）	狭山市	縄文・平安・中世	戸張遺跡：縄文時代土壌1基、平安時代住居跡13軒、掘立柱建物跡10棟、中世井戸跡他／中原遺跡：縄文時代住居跡1軒、落し穴3基、平安時代住居跡4軒他。狭山市における平安時代の良好な集落跡。須恵器坏の製作手法について検討。
238	与野東遺跡	1999	都市計画道路（八幡通り線）	さいたま市	縄文・古墳・中～近世	古墳時代住居跡5軒、中近世溝跡12条、墓穴跡9基他。住居跡からはいわゆる比企型坏等の赤彩された土師器坏などが出土。墓穴跡からは寛永通宝が多く出土した。
239	稲荷台遺跡	2000	病院（リハビリセンター）	上尾市	旧石器・縄文・古墳・中近世	縄文時代土壌18基・炉穴9群、古墳時代前期住居跡20軒。上尾市。早期野島式から鶴ヶ島台式への変遷、加曾利EⅣ式土器について考察。
240	天神東遺跡	1999	病院（痴呆性高齢者支援センター）	熊谷市	古墳	古墳時代前期住居跡5軒、時期不明の掘立柱建物跡1棟。熊谷市。火災を被ったと思われる住居跡からは当該期の土器が多く出土し、土器組成を検討する上での好資料となっている。
241	如意／如意南	2000	農免道路（ふるさと農道）	川本町	古墳・奈良・平安・中世	如意遺跡：古墳時代後期住居跡17軒、土壌25基。／如意南遺跡：古墳時代後期住居跡42軒、土壌60基他。
242	まます遺跡	2001	河川改修（葛川）	毛呂山町	縄文・古代・中・近世	入間郡毛呂山町所在。縄文時代竪穴住居跡・土壌等。縄文中期勝坂期から加曾利E式へ移行期における良好な一括資料。併行期の他系統土器との比較検討を加えつつ、構造的原理を意欲的に分析する。
243	浜平岩蔭／入波沢西／入波沢東	2000	ダム（滝沢ダム）	大滝村	縄文	
244	太田貝塚	2000	学校（県立岩槻商業高校）	岩槻市	中近世	
245	築道下遺跡3	2000	工業団地（行田南部）	行田市	奈良・平安～中世	古墳時代後期～中世の住居跡228軒、掘立柱建物跡28棟、竈跡1基他。既報『築道下遺跡Ⅰ・Ⅱ』の南側調査区の報告。竈跡からはカワラケが多数出土。
246	築道下遺跡4	2000	工業団地（行田南部）	行田市	古墳・奈良・平安・中世	古墳時代後期～中世の住居跡222軒、掘立柱建物跡106棟、井戸跡他。『築道下遺跡Ⅲ』の南東部調査区の報告。
247	小沼耕地遺跡2	1999	施設（環境科学国際センター）	騎西町	縄文・古墳・中世	縄文時代住居跡3軒、古墳時代周溝7基、中世溝跡82条、土壌150基他。騎西町。縄文前期十三菩提式期の住居跡の検出は県内では稀少である。
248	上敷免北遺跡	2000	県道（深谷妻沼）	深谷市	縄文・古墳・中近世	縄文時代住居跡2軒、古墳時代溝跡、中近世井戸跡他。深谷市。縄文時代後期の良好な資料。土偶・耳柱などの土製品も出土。中近世陶磁器・在産土器等も多く出土。
249	金井遺跡B区2	2000	住宅（坂戸入西）	坂戸市	古代・中世	
250	宮西遺跡	1999	県道（蛭川普濟寺）	岡部町	奈良～平安・中近世	奈良・平安時代の住居跡26軒、掘立柱建物跡3棟、中近世道路状遺構他。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
251	熊野／新田	2000	県道（針ヶ谷岡）	岡部町	奈良～平安・中近世	熊野遺跡：奈良・平安時代住居跡38軒・掘立柱建物跡18棟、中近世土壌45基他。／新田遺跡A区：奈良・平安時代住居跡12軒。／新田遺跡B区：奈良・平安時代住居跡8軒、掘立柱建物跡1棟、中近世土壌25基。
252	上ノ宮遺跡	1999	県営団地（大宮東門前）	さいたま市	縄文・古墳・平安・中近世	縄文時代炉跡35基、土壌75基、古墳時代前期の方形周溝墓6基。大宮市。縄文時代早期野島式の良くまとまった資料。方形周溝墓の主体部からガラス玉等が出土。
253	深作稻荷台遺跡	1999	県営団地（大宮小深作）	さいたま市	縄文・古墳・中近世	縄文時代早期条痕文系土器、中期～後期土器集中、古墳時代前期土器。大宮市。土器集中からは加曾利EⅢ式に相当する深鉢形土器が出土。
254	石神貝塚	2000	県道（大宮鳩ヶ谷）	川口市	縄文・近世	縄文時代晩期住居跡3軒・土壌10基、近世溝跡3条・土壌13基。川口市。安行3式期を中心とした時期の良好な資料。土偶・耳飾等の土製品も多く出土。
255	下野田本村遺跡	1999	鉄道（埼玉高速鉄道）	さいたま市	縄文・弥生・平安	縄文時代早期炉跡2基、弥生時代後期住居跡9軒、平安時代住居跡1軒。浦和市。弥生時代後期竪穴住居跡群は集落変遷の解明への手がかりとなる様相を呈し、土器は周辺諸地域との関連を考える上で重要な資料となっている。他に平安時代墨書土器が出土。
256	海老島遺跡	1999	河川改修（隼人堀川）	白岡町	縄文・平安・近世	縄文時代炉跡3基、近世土壌他。白岡町。包含層からは早期条痕文系土器片がまとまって出土。茅山下層式最終段階として位置付けられる資料。
257	堀東／城西2	2000	河川改修（福川）	深谷市	縄文・弥生・平安	堀東遺跡：縄文時代中・後期住居跡7軒、集石8基、弥生時代中期遺物包含層。／城西遺跡：平安時代住居跡3軒、掘立柱建物跡5棟、火葬墓1基。深谷市。縄文時代中・後期の良好な土器群。弥生時代中期/好資料。
258	小池氏館跡	2000	国道（140号）	皆野町	中近世	土塁を検出。周辺からは18世紀後半代から19世紀にかけての陶磁器が出土。
259	大木前／小栗北／小栗／日向	2001	主要地方道（熊谷小川秩父）	嵐山町／小川町	縄文・奈良・平安・中近世	大木前遺跡：縄文時代炉跡1基、奈良・平安時代の住居跡26軒。平安時代の第5号住居跡カマド付近からは古墳時代の遺物である斜縁二神二獣鏡破片が出土した。／小栗北遺跡：縄文時代住居跡・土壌、平安時代住居跡等。縄文時代炉跡からは条痕文系土器が出土。土壌は諸磯b式期。住居跡は中期である。／小栗遺跡：奈良・平安時代の住居跡、掘立柱建物跡等。／日向遺跡：奈良・平安時代の住居跡、中・近世溝跡、土壌、炭焼窯跡等。9世紀代の住居跡からは酸化焰焼成された土器群が出土。比企郡嵐山町・小川町。
260	南久我原遺跡2	2000	主要地方道（大宮上福岡所沢）	川越市	古墳・近世	事業団報告書第201集に続く第2次調査。古墳時代集落跡や江戸時代後期の河岸場に関する遺構を検出。埋没谷中の流路跡からは古墳時代前期の遺物が出土、周辺に方形周溝墓群の存在を推定した。また江戸時代の河岸場関連遺構と近世文書等との比較検討を行い、当時の景観を再現。
261	村中遺跡	2000	都市計画道路（飯能所沢）	所沢市	旧石器・古墳	先土器時代の石器、円墳、中近世溝跡・土壌を検出。石器は剥片、削器である。円墳は6世紀後半と推定された。所沢市内の古墳群の形成についてもあわせて考察した。
262	神ノ木遺跡	2000	水道（幸手幹線）	菫蒲町	縄文・古墳	縄文時代後期の土壌、古墳時代後期の円墳を検出。縄文時代の土器は称名寺式、堀之内式期に属するもので、その変遷過程を検討した。
263	下野田稻荷原遺跡	2001	国道（463号）	さいたま市	弥生～古墳・平安・中近世	第255集下野田本村遺跡に隣接する遺跡。弥生時代後期から古墳時代前期にかけての住居跡39軒、平安時代住居跡6軒、中・近世土壌178基など。平安時代の住居跡からは須恵器等とともにロクロ土器が出土しており、近隣の生産地と供給先としての本遺跡との関連性を検討する必要がある。
264	如意遺跡	2001	ダム（六堰頭首工）	川本町	古墳～奈良・平安	第241集『如意／如意南』の続編。古墳時代後期から奈良・平安時代の竪穴住居跡118軒、平安時代須恵器窯跡他。前回報告と同様、多数の土鍾が出土。窯跡出土須恵器は甕が主体で9世紀末から10世紀初頭と推定される。
265	中尾緑島遺跡	2000	都市計画道路（大宮東京線）	さいたま市	縄文	縄文時代早期・前期の住居跡・土壌・土器埋設遺構を検出。黒浜式期の住居跡からは、多量の土器片とともに三角形石製品が出土。北海道・東北地方の類例も紹介しつつ、系譜の検討を行った。
266	堂地遺跡	2000	国道（圏央道）	川島町	古墳～近世	古墳時代から近世に至るまでの多種多様な遺構・遺物を検出。特にかわらけ・板碑の分析を意欲的に行っている。また中世居館跡と交通路の問題を検討した。
267	箱石遺跡2	2001	県道（広木折原線）	寄居町	縄文・古墳・平安	第211集報告の続編。縄文時代後期敷石住居、古墳時代後期古墳跡、平安時代の住居跡、須恵器窯、中世溝跡等を検出。須恵器窯は古墳の周溝斜面を利用して構築された小規模な窯跡。9世紀後半の須恵器が出土。
268	大寄遺跡1	2000	工業団地（岡部町西部）	岡部町	縄文・古墳～中世	231集沖田Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ遺跡と同様、岡部西部工業団地用地内に所在。縄文時代前期関山式、及び古墳時代から中世以降に至るまでの多数の遺構を検出。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
269	原遺跡	2001	土地区画整理（伊奈特定）	伊奈町	縄文・中世	縄文時代中期竪穴住居跡、中近世建物跡を検出。特に縄文時代中期の竪穴住居跡や掘立柱建物跡といった遺構群は、集落の全体像を復元するのに十分な資料を提供する。
270	馬場裏遺跡2	2001	学校（県立行田進修館高校）	行田市	縄文・平安・中近世	第230集に引き続き報告。縄文時代住居跡8軒、土壇6基、平安時代溝跡、中・近世ピット多数。
271	深作稻荷台遺跡2	2001	県営団地（大宮小深作）	さいたま市	縄文・近世	縄文時代土壇21基、近世溝跡2条他。第253集に引き続き報告。早期条痕文系土器等の他、安行1式、安行3c式土器が出土した。
272	向原遺跡2	2001	土地区画整理（伊奈特定）	伊奈町	縄文・古墳・中近世	第233集に続く報告。旧石器時代石器集中1、縄文時代住居跡5軒、土壇104基、古墳時代前期住居跡48軒、方形周溝墓1基、平安時代住居跡1軒、中近世井戸跡7基、溝跡110条他を調査。
273	川越城／小在家2	2001	学校（川越高校・桶川西高校）	川越市／桶川市	中近世	川越城跡：川越市。奈良・平安時代住居9軒、中近世掘立柱建物跡9軒、柵列11条、堀跡4列、瓦敷遺構1基、廃棄遺構5基等。／小在家遺跡：桶川市。中近世掘立柱建物跡2軒、土壇19基。
274	成願遺跡	2002	施設（和田吉野川防災センター）	大里村	縄文・弥生・古墳・中世	弥生時代後期から古墳時代前期住居跡9軒、古墳時代後期住居跡58軒、掘立柱建物跡21棟、柵跡4列、中世井戸跡5基。
275	堀東遺跡2	2002	河川改修（福川）	深谷市	縄文・中世	第257集に引き続き報告。縄文時代中期から後期の土壇4基、古墳時代後期から近世の溝跡4条、中世の竪穴状遺構2基。
276	如意3／川端	2002	ダム（六堰頭首工）	川本町	縄文・古墳・奈良・平安・中近世	第241集、第264集の続編。古墳時代後期から奈良・平安時代の竪穴住居跡159軒。前報告に引き続き、土錘が多量に出土。／川端遺跡：古墳時代後期竪穴住居跡12軒、土坑12基、溝跡1条。
277	稻荷前遺跡B区2	2002	土地区画整理（坂戸入西）	坂戸市	古墳・中世	第120集、第145集の続編。古墳時代後期、中近世の集落跡。本報告により、古墳時代後期から平安時代まで継続された稲荷前遺跡集落の北限が判明。縄文時代晩期末葉の土器片3点も出土。
278	北島遺跡5	2002	スポーツ文化公園	熊谷市	奈良・平安	7世紀から中世にかけての大規模な集落。特に7世紀末から8世紀にかけての掘立柱建物跡群と、9世紀後半から10世紀前半の二重の方形区画施設を伴う遺構が見られた。緑釉陶器や灰釉陶器が多数出土し、とりわけ黒笹90号窯式の緑釉陶器稜椀には「篁」の刻書をもつ。
279	熊野遺跡（A・C・D区）	2002	岡中央団地	岡部町	奈良・平安・中近世	奈良・平安時代竪穴住居跡143軒、掘立柱建物跡69棟、道路跡1条、中世以降の竪穴状遺構20軒、掘立柱建物跡23棟等。畿内産土師器、円面硯、陶棺、カマド形土製品等の特殊遺物を検出。古代榛沢郡の正倉跡と考えられている中宿遺跡に隣接する郡衙関連遺跡である。
280	大寄遺跡2	2002	工業団地（岡部町西部）	岡部町	古墳・奈良・平安・中近世	第268集に引き続き報告。縄文時代前期から中世に至る多数の遺構を検出。奈良・平安時代住居跡105軒他。10世紀後半～11世紀の多数の住居跡が検出された県内では稀な集落跡。ロクロ使用の酸化焰焼成土器を多数出土。
281	八木崎遺跡	2002	学校（春日部高等学校）	春日部市	奈良・平安・中近世	奈良・平安時代住居跡53軒他。武蔵国と下総国の国境に立地し、県内東金子窯・末野窯・南比企窯産の須恵器をはじめ、在地産ロクロ土師器、茨城三和窯、新治窯、千葉産の須恵器・ロクロ土師器が出土。流通史、経済史、地域史を検討する極めて貴重な資料。
282	谷ツ遺跡	2002	国道（関越小川嵐山インター）	嵐山町	縄文・奈良・平安・中世	縄文時代中期住居跡3軒、奈良・平安時代住居跡31軒他。比企丘陵の中核に位置し、南比企窯の須恵器生産を支えた人々の丘陵地帯の集落。土師器、南比企窯産須恵器、灰釉陶器、石製・土製・鉄製の紡錘車が出土。
283	池上／諏訪木	2002	県道（熊谷羽生線）	熊谷市	縄文・弥生・古墳・中近世	
284	東原遺跡	2002	農道整備	花園町	旧石器・縄文・中世	航空写真により発見された珍しい経緯を持つ中世館跡の調査報告。中世の掘立柱建物跡1棟、土坑46基、溝跡16条・井戸跡2基が検出されている。
285	如意遺跡4	2003	ダム（六堰頭首工）	川本町	古墳・奈良・平安	第264集『如意遺跡』、第276集『如意Ⅲ／川端』に次ぐ報告でこれが最終報告となる。古墳時代後期から平安時代の約400年わたる竪穴住居跡234軒の大集落。
286	北島遺跡6	2003	スポーツ文化公園	熊谷市	弥生	前年度刊行の第278集『北島Ⅴ遺跡』と同じ第19地点の弥生時代編。関東地方有数の水利施設・水田遺構を伴う集落遺跡。弥生時代中期竪穴住居跡78軒、掘立柱建物跡1棟を検出。9軒から屋内甕棺墓を検出。
287	木津内貝塚	2003	高規格堤防整備（江戸川）	杉戸町	旧石器・縄文	縄文時代前期住居4件の検出。うち2軒は前期後葉の好資料。また、2軒の住居と1基の土壇から地点貝塚が検出。
288	宮西遺跡1	2003	工業団地（岡部町西部）	岡部町	古墳・奈良・平安	古墳時代の竪穴住居跡46軒、奈良・平安時代の竪穴住居跡67軒の報告。土師器、須恵器の他、灰釉陶器、土製品、石製品、鉄製品が出土。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
289	中尾緑島遺跡 2	2003	都市計画道路（大宮東京線）	さいたま市	縄文・弥生・中世	第265集『中尾緑島遺跡』に次ぐ報告。縄文時代の土壌20基、土器埋設遺構1基、炉跡1基。弥生時代中期の住居跡1軒。中世の地下式墳8基、井戸2基、溝6条の報告。
290	宮脇遺跡	2003	都市計画道路（鶴瀬駅東通線）	富士見市	縄文・奈良・平安	縄文時代中期の住居跡4軒、奈良・平安時代の住居跡14軒、中・近世の掘立柱建物跡2棟、柵列1条等を検出。
291	北島遺跡 7	2004	スポーツ文化公園	熊谷市	弥生	弥生時代中期における関東地方有数の低地性遺跡である北島遺跡の第17・19・20地点の報告。第17地点では弥生時代中期後半の小区画水田、溝、河川跡等を報告。第20地点では古墳時代前期と古代の2面の遺構面が検出され、古墳時代前期の畠跡を調査。
292	北島遺跡 8/田谷	2004	スポーツ文化公園	熊谷市	古墳	熊谷市の北東部に所在する北島・田谷遺跡の報告書。北島遺跡は古墳跡を中心に掲載。北島遺跡は6世紀前半を中心に営まれた古墳群の調査。埴輪列を巡らした円墳を検出。田谷遺跡は弥生時代終末から古墳時代前期の住居跡、古墳時代後期の古墳跡の調査。
293	北島遺跡 9	2004	スポーツ文化公園	熊谷市	奈良・平安・中近世	平安時代の溝によって区画された官衙的性格をもつ建物群と、その南を走る道路跡を検出。622点の墨書土器、習書木簡等が出土し、詳細な分析をおこなう。また、中世の山吹双鳥鏡を伴う土壌墓や近世の埴輪跡を調査。
294	如意南遺跡 2	2004	本島揚水機場	川本町	古墳・奈良・平安	第241集『如意/如意南』に次ぐ報告。荒川右岸に展開する大規模集落の如意・川端遺跡に隣接する遺跡。古墳～奈良・平安時代の住居跡10軒、掘立柱建物跡4棟等を調査。漁撈活動を反映する多量の土錘が出土。
295	北/原/相野谷/戸崎前/向原/薬師堂根	2004	土地区画整理（伊奈特定）	伊奈町	縄文・古墳・中近世	原遺跡では縄文時代中期の住居跡、土壌、落とし穴等が検出され、縄文中期の土器、石器がまとめて出土した。/戸崎前遺跡では縄文時代早期の住居跡、炉穴、縄文時代中期の住居跡、土壌。平安時代の炭窯等を調査。縄文土器、須恵器、陶磁器、古銭等が出土。/薬師堂根遺跡では縄文時代早期の住居跡、炉穴、縄文時代中期の住居跡、土壌。古墳時代前期の住居跡等が検出され、縄文土器、土師器、陶磁器等が出土。/相野谷遺跡は中世の溝、井戸、土壌が調査され、井戸から板碑が出土。/向原遺跡は古墳時代前期の住居跡が調査され、土師器が出土している。/北遺跡では中・近世の溝、土壌等が調査され、縄文中期土器片、中・近世陶磁器が出土。
296	下田町遺跡 1	2004	高規格堤防整備（荒川）	大里町	弥生・古墳～平安・中世	弥生中期後半、古墳時代前期の方形周溝墓を調査。古墳時代後期の住居跡には周りに溝を巡らすものや、滑石製模造品の出土が目立つ。また古墳時代後期の大溝からは多量の土器・木器とともに貝類や骨が出土。なかでも「馬鍬」の出土は特筆される。
297	戸宮前/在家/宮廻	2004	国道（圏央道）	川越市	旧石器・縄文・中世	中世の戸宮前館跡では、掘立柱建物跡、井戸、竪穴状遺構、地下式墳等を調査。在家遺跡では旧石器時代の礫群、縄文時代の炉穴、中世の掘立柱建物跡、井戸、溝を調査。中世の宮廻館跡では、掘立柱建物跡、井戸、竪穴状遺構、地下式墳、溝、土壌を調査したほか、縄文時代の集石、炉穴を検出。
298	古宮/中条条里/上河原	2005	県道（弥藤吾行田線）	熊谷市	弥生～中世	古宮遺跡は、縄文時代晩期、弥生時代中期、古墳時代前・中期、奈良・平安時代にわたる複合遺跡。縄文時代晩期は安行3b～3d式の土器集中地点を検出。弥生時代中期は竪穴住居跡4軒、掘立柱建物跡1棟、土壌17基を検出し、住居からヒスイ製勾玉、管玉等がまとめて出土。時期的には小敷田式段階に相当し、北陸系、中部高地系、南東北系などの他地域の土器も伴出。古墳時代前期は竪穴住居跡13軒、掘立柱建物跡4棟、畝状遺構を検出。桁行11mを越す大型の掘立柱建物跡を含む。中条条里遺跡では古墳時代前期の竪穴住居跡7軒、方形周溝墓2基などを検出。方形周溝墓からは東海系の加飾壺や木製鋤が出土。上河原遺跡では4枚の水田面を検出。
299	大山遺跡（第10次・11次）	2005	県立精神医療センター	伊奈町	旧石器・奈良・平安	奈良・平安時代の県下最大規模の製鉄遺跡。製鉄炉4基、炭焼窯3基、土壌10基、廃滓場1箇所を検出。製鉄炉は手前の炉壁が残存し、ほぼ完形の炉底塊が出土した。また、製鉄炉下方の斜面からは廃滓場を検出。須恵器、炉壁、大口径羽口（通風管）、羽口、鉄滓類などの製鉄関連遺物が多量に出土。ほかにナイフ形石器を出土した旧石器時代の石器集中1箇所、近世の道路跡1条、土壌1基を検出。
300	川越城跡Ⅱ	2005	学校（川越高校）	川越市	中・近世	中世後半から幕末にかけて存続した川越城の八幡曲輪の調査。堀跡2条、溝跡1条、土塁跡1基、井戸跡1基。堀跡から17世紀以降の陶磁器・瓦が多量に出土。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
301	下田町遺跡Ⅱ	2005	高規格堤防整備（荒川）	大里町	古墳～中世	下田町遺跡Ⅰ（第296集）の続編で、第2次調査（東区）と第3次調査の報告。第2次調査（東区）では、古墳時代後期から中世の竪穴住居跡16軒、掘立柱建物跡6棟、井戸跡48基、土坑34基、ピット356基、溝跡112条を検出した。また第3次調査では弥生時代中期の土坑1基、古墳時代前期の方形周溝墓6基、古墳時代後期から中世の竪穴住居跡37軒、掘立柱建物跡17棟、柱穴列9条、井戸跡171基、円形周溝状遺構2基、土坑357基、ピット3696基、火葬土坑27基、溝跡301条、道路状遺構2条を検出した。このうち平安時代の土坑から「占部豊川」と線刻された石製紡錘車を検出した。まとめでは、弥生時代中期から中世におよぶ各時代の様相を概観するほか、古墳時代後期の周溝をめぐる住居跡、古墳時代終末期の土師器坏分類、線刻紡錘車「占部豊川」の意味、灰釉陶器・緑釉陶器、中世の火葬土坑などについて論じる。
302	北島遺跡 10	2005	スポーツ文化公園	熊谷市	弥生～奈良・平安	第19地点の調査で検出された古墳時代前期の住居跡153軒、方形周溝墓27基、木棺墓1基、土壇214基、溝跡91条を報告。方形環濠に囲まれた集落跡の調査例として注目される。このほか周溝が巡る竪穴住居跡や27基から構成される方形周溝墓群、舟形木棺を埋設した木棺墓なども検出された。出土した大量の土器には東海系や北陸系土器を多量に含む。
303	北島遺跡 11	2005	スポーツ文化公園	熊谷市	弥生～奈良・平安	第17地点では古墳時代前期の集落及び生産域をセットで検出。住居跡15軒、土壇32基、ピット57基、溝跡32条、堰跡2基、河川跡、水田跡、畠跡を調査。／第19地点では古墳時代前期～中期の水利施設を中心に、しがらみ状遺構1基、堰跡3基、河川跡、護岸跡、畠跡を報告する。／第21地点では古墳時代前期～平安時代の住居跡3軒、土壇30基、ピット18基、溝跡35条、河川跡、畠跡を検出。まとめでは、第17地点の古墳時代前期の住居跡、水田跡、畠跡について分析を加えている。
304	北島遺跡 12	2005	スポーツ文化公園	熊谷市	弥生～奈良・平安	第17地点の古代～中近世と第18地点についての報告。／第17地点では奈良・平安時代の住居跡19軒、竪穴状遺構43基、掘立柱建物跡6棟、ピット列7条、土壇109基、池状遺構1箇所、溝跡199条、水田跡は二面目36筆、一面目368筆である。条里関連と考えられる水田跡・畦畔、溝跡が検出された。第12号住居跡からは奈良三彩小壺が出土したのをはじめ、古代の透をもつ横櫛、中世の鞘付き刀などの出土が特筆される。／第18地点は平安時代の水田跡797筆、近世の溝跡4条を検出した。／また附編として第19地点から出土した「笠」についての詳細な報告を掲載。
305	北島遺跡 13	2005	スポーツ文化公園	熊谷市	弥生～奈良・平安	古墳時代前期の溝跡、土壇、河川跡から多量に出土した多量の木製品の報告。農耕具、建築材、工具、武器、紡織具、祭祀具などの多様な木製品が出土。埼玉県内の遺跡出土木製品を集成し、その変遷について考察する。また、第19地点を中心とする古墳時代前期の土器群の様相を総括する。
306	飯塚北遺跡	2005	工業団地（妻沼西部）	妻沼町	弥生・奈良・平安	弥生時代中期中葉の再葬墓5基と同時期の土壇6基、遺物集中区5箇所を検出。これらの遺構群の有機的な関係から、再葬にいたるプロセスを復元する。260軒を越す奈良平安時代の住居跡を報告。多量の灰釉・緑釉陶器をはじめ、円面硯、「饒益神寶」（ようえきしんぼう：貞観元年＝852年）などの注目すべき遺物が出土。また第120号住居跡からは銅製の鉸具、巡方、石製の丸鞆などの腰帯具がまとまって出土した。
307	雅楽谷遺跡 2	2005	施設（東埼玉病院）	蓮田市	縄文・弥生	環状盛土遺構を残す縄文時代後晩期の著名な遺跡。環状盛土遺構の南縁にかかる部分を調査。縄文時代後期の住居跡2軒、竪穴状遺構2基、後期から晩期の土壇17基、土器埋設遺構5基、炉跡2基、ピット群などを検出。また環状盛土遺構に伴う縄文土器（堀ノ内・加曾利B・曾谷・安行）・石鏃・石斧・磨石・石皿・石棒・石剣・土偶・土版・耳飾・垂飾品などの数多くの遺物が出土し、黒曜石製の石核や原石数多く出土したことも特筆される。
308	宮沢遺跡	2005	自転車歩行者道	長瀬町	縄文・近世	荒川左岸低位段丘面上に立地する縄文時代前期・中期の集落跡。縄文時代の遺構は、前期初頭の花積下層式の住居跡1軒、中期後葉の加曾利EⅠ式の住居跡4軒、集石土壇3基、土壇17基などを検出。このうち第5号住居跡からは加曾利EⅠ式新段階に位置づけられる良好な土器群とともに、磨製・打製石斧、礫器、磨石、凹石、石皿などの多量の石器が出土。このほか近世の鍛冶炉跡3基、井戸跡1基、石組遺構1基、溝跡1条などを検出。磁器、羽口、寛永通寶、椀形滓などが出土。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
309	徳力東北遺跡	2005	河川改修（古隅田川）	岩槻市	縄文・古墳・中近世	縄文時代前期の住居跡19軒、土壌116基を検出。縄文時代早期前半の燃系文系土器から、晩期終末～弥生時代初頭までの土器（稻荷台・茅山下層・花積下層・黒浜・諸磯・加曾利E・称名寺・堀ノ内・加曾利B・大洞A'）が出土し、とりわけ縄文時代前期中葉の黒浜式から後葉の諸磯b式にかけて住居跡や土壌から良好な一括資料が出土した。このほか古墳時代前期の住居跡1軒、中～近世の土壌51基、溝跡21条、ピット群なども検出。
310	宮西2遺跡	2005	工業団地（岡部町西部）	岡部町	縄文～近世	第288集『宮西遺跡Ⅰ』の続編。縄文時代前期の住居跡18軒、土壌8基、古墳時代の住居跡66軒、井戸跡1基、古墳跡1基、土壌2基、溝跡2条、奈良・平安時代の住居跡86軒、掘立柱建物跡36棟、井戸跡16基、製鉄炉跡3基、方形区画溝跡1条、溝跡8条、土壌5基、土壌墓2基、粘土採掘坑、中近世の井戸跡4基、溝跡8条、土壌67基、茶毘跡2基、畠跡1ヶ所、道路跡3条を検出。
311	伊勢の台遺跡	2005	県道（玉川坂戸線）	玉川村	縄文	縄文時代の土壌12基、不明遺構1基、ピット130基、近世以降の区画溝と考えられる溝跡1条を検出した。遺物は縄文時代早期から中期の土器、石器などが出土した。
312	西吉見条里遺跡	2005	河川改修（市野川）	吉見町	平安・近世	平安時代の溝跡、堤状盛土遺構、杭列状遺構、土器集中地点などの遺構を検出。土師器、須恵器などが出土。条里関連の遺構と想定される。
313	中山遺跡	2005	（株）ベルク造成	寄居町	弥生・平安	平安時代の製鉄遺跡として著名。今次調査では排滓坑3箇所が検出された。遺構内からは大量の製鉄関連遺物が出土した。隣接して工房跡と考えられる住居跡も調査された。
314	東地総田遺跡	2005	東武ストア谷塚店建設	草加市	古墳～近世	埼玉県東部、中川低地に位置する古墳時代前期の集落跡。古墳時代前期の遺物は、台付甕、埴、壺などの土師器を主体とするが、千葉県に多く見られる「異形器台」や土製勾玉などの特殊遺物が出土した。
315	白井沼遺跡 1	2005	河川改修（安藤川）	川島町	古墳・近世	荒川低地における古墳時代前期の集落跡。住居跡2軒、掘立柱建物跡1棟、周溝5基、井戸跡8基などの遺構が調査され、大量の古式土師器が出土した。搬入品と考えられる大廓式の土器片を含む。井戸からは木製容器の蓋が出土し注目される。
316	諏訪坂貝塚	2005	学校建設（栄北高校）	上尾市	旧石器～近世	大宮台地に立地する旧石器及び縄文時代前～後期を中心とする遺跡。第1次調査では石器集中区が検出され、細石刃・細石刃核・スクレイパー・削器・楔形石器などが出土した。第2次調査では、旧石器から縄文（前・中・後期）、平安、江戸時代にわたる各時代の遺構・遺物が多数検出された。とくに縄文時代では住居跡17軒、土壌28基、炉穴16基、石器集中区1箇所、土器集中区1箇所が調査され、関山・黒浜・諸磯a・b、加曾利E、称名寺式土器が検出された。
317	飯塚古墳群 1	2005	県道（深谷妻沼線）	熊谷市	古墳	利根川右岸の妻沼低地に所在する飯塚古墳群の第3次調査の報告書。古墳跡1基、溝跡12条、土壌4基、井戸跡2基が検出され、土師器・埴輪・砥石などが出土した。古墳跡は6世紀中頃の築造で、周溝から土師器坏、円筒埴輪、形象埴輪などを出土した。また、時期不詳ながら周溝に接して馬埋葬土壌が1基確認された。
318	宮台・宮原遺跡	2006	朝霞根岸台団地	朝霞市	弥生～中世	武蔵野台地に所在する宮台・宮原遺跡第7地点の報告書。弥生時代後期から平安時代を中心とした集落遺跡である。今回の調査では弥生時代後期末から古墳時代前期初頭の土壌から破砕された「有鉤銅釧」が出土しており注目される。また、平安時代の第5号住居跡から墨書土器がまとまって出土した。
319	下田町遺跡 3	2006	高規格堤防整備（荒川）	熊谷市	古墳～中世	下田町遺跡Ⅰ・Ⅱ（第296・301集）の続編で、第4次調査（西区）の報告。古墳時代前期の方形周溝墓、竪穴住居跡、古墳時代中・後期の竪穴住居跡、掘立柱建物跡、井戸跡、奈良・平安時代の竪穴住居跡、掘立柱建物跡、井戸跡、溝跡、中世の井戸跡、溝跡、火葬土坑などを検出。このうち古墳時代前期の遺構からは異なる2形式の腕輪形石製品が出土している。古墳時代後期では紡錘車の未製品を含む、石製模造品が多量に出土。8世紀前半の井戸跡から黒漆塗の壺蓋が出土し、注目される。
320	下田町遺跡 4	2006	高規格堤防整備（荒川）	熊谷市	古墳～中世	下田町遺跡Ⅰ～Ⅲ（第296・301・319集）の続編で、第4次調査（東区）および第5次調査の報告。第4次調査（東区）では古墳時代前期の前方後型を含む方形周溝墓2基をはじめとして、古墳時代前期から中世におよぶ数多くの遺構を調査した。遺物では子持勾玉が特筆される。第5次調査では同じく古墳時代前期から中世におよぶ数多くの遺構が検出された。方形周溝墓6基、竪穴住居跡93軒、掘立柱建物跡、井戸跡、土坑、溝跡、竪穴状不明遺構、道路状遺構、焼土跡、ピットなどが確認された。このうち方形周溝墓の1基にはマウンドが残存していた。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
321	飯塚北 2/飯塚古墳群 2	2006	工業団地（妻沼西部）	熊谷市	奈良・平安/古墳	飯塚北遺跡は奈良・平安時代を中心とした集落跡である。今回の報告は、第306集の続編で、竪穴住居跡を除く、その他の遺構について報告している灰釉陶器や緑釉陶器がまとまって出土している。
322	中野遺跡	2006	介護老人保健施設	長瀬町	縄文	縄文時代中期～晩期の集落跡で、住居跡2軒、土壇22基、集石土壇3基などを検出。住居跡は晩期のもの、石剣・石棒の未製品が出土しており、製作跡の可能性もある。
323	杉の木遺跡	2006	介護老人保健施設	東松山市	弥生・古墳	弥生時代後期の竪穴住居跡10軒、古墳時代前期の方形周溝墓1基、古墳時代後期の円墳跡3基、埴輪棺1基、中・近世の溝跡、室跡、集石土壇、土壇、ピットなどを調査。吉ヶ谷式期の集落としてはまとまった良好な資料である。また、古墳跡から出土した円筒埴輪は、近接する桜山窯跡群から供給された可能性が大きい。なお、試掘調査で人物や馬などの形象埴輪を出土した毛塚28号墳を合せて報告する。
324	上町東/旭原	2006	国道299号（飯能狭山BP）	飯能市	旧石器・縄文・奈良・近世	上町東遺跡：縄文時代の竪穴住居跡6軒、陥し穴2基、近世以降の掘立柱建物跡、竪穴状遺構、土壇、井戸跡を検出。井戸跡からは飯能焼製品がまとまって出土。 旭原遺跡：旧石器時代の石器集中1箇所、縄文時代の竪穴住居跡、土壇、集石土壇、陥し穴、奈良時代の竪穴住居跡を検出。
325	膳棚東 2/東内手/北久米	2006	都市計画道路（飯能所沢線）	所沢市	縄文・古墳～平安	膳棚東遺跡：円墳跡2基、土坑10基。主体部の粘土槲からガラス小玉が出土。 東内手遺跡：縄文時代の土坑・ピット、古墳時代の土坑、奈良・平安時代の竪穴住居跡3軒、中・近世の土坑・溝跡を検出。 北久米遺跡：縄文時代の土坑・ピット、平安時代の住居跡、中・近世の土坑・溝などを検出。このうち性格不明遺構からは、褐鉄鉱の塊が出土し、ベンガラ製作遺構の可能性が指摘されている。
326	伊勢方遺跡	2006	県道（花園本庄線）	深谷市	古墳～近世	古墳時代から中・近世におよぶ集落跡の調査。竪穴住居跡7軒、井戸2基、土坑33基、溝10条、ピット7基を検出。平安時代の住居には竈の補強材に埴輪を使用したものがある。
327	箱石遺跡 III	2006	県道（広木折原線）	寄居町	古墳～平安	竪穴住居跡を主体とする集落跡とともに、古墳跡2基・須恵器窯跡3基のほか奈良時代の製鉄炉5基を検出。特に、箱型炉と呼ばれる製鉄炉は県内初見で、遺跡北側の末野窯跡群（6～10世紀）とともに古代の一大生産拠点として注目される。
328	白井沼遺跡II	2007	国道（圏央道）	川島町	古墳	古墳時代前期を中心とする集落遺跡。特徴的な遺構として「周溝遺構（しゅうこういこう）」があり、遺物では、東海地方系の土器が多量に出土。特に、駿河地方からの搬入品と考えられる大廓式（おおくるわしき）土器の複数器種・個体の出土は県内初例。
329	氷川神社遺跡	2007	都市計画道路（川越上尾線）	川越市	古墳～中世	現在の氷川神社を含む遺跡。狭い範囲ながら、古墳～平安時代の竪穴住居跡7軒を検出し、中世の地下式坑からは墨書土器や緑釉陶器が出土。
330	堀込遺跡	2006	特別養護老人ホーム	寄居町	縄文・古墳・近世	縄文時代の住居跡6軒は、中期後半と同終末の二時期に分かれ、終末期のうちの1軒は柄鏡形住居で、複数個体の土器と共に3個体分の土器片を並べて作った炉が出土。古墳時代の住居跡は、規模によって大型・中型・小型に分類でき、大型の2軒は建て替えと思われる。
331	金屋条里遺跡	2007	県道（秩父児玉線）	本庄市	平安～近世	溝跡3条・土壇4基・性格不明遺構1基のほか、旧河川跡及び埋没谷を検出し、第3号土壇からは桶状木製品が出土した。
332	日向遺跡II	2007	主要地方道（熊谷小川秩父線）	小川町	中世	中世を主体とする遺跡で、土壇36基・溝跡5条・井戸跡5基・竪穴状遺構1基及びピット26基を検出。舶載陶磁器を含む中世遺物も出土しており、調査区西側を南北に走ると思われる鎌倉街道上道との関連も注意される。
333	飯積遺跡I	2007	大高島地区河川防災ステーション	北川辺町	古墳～中世	第2次調査分。利根川の旧流路（合の川）の自然堤防上に立地する大規模集落遺跡で、東南側の第2次調査区から竪穴住居跡92軒をはじめ土壇・井戸跡・溝跡などを検出。特に、竪穴住居跡は長大な煙道部が特徴的で、床面に数十個体の土器を残す住居跡も出土。
334	飯積遺跡II	2007	大高島地区河川防災ステーション	北川辺町	古墳～中世	第2次調査と同一の集落で、第3・4次調査分。西北に隣接する調査区から竪穴住居跡152軒をはじめ土壇・井戸跡・溝跡および5世紀以前の流路跡や地震の痕跡を検出。また、砂質で脆弱な基盤に対応したカマド作りの工夫も確認された。
335	新屋敷塚	2007	主要地方道（熊谷小川秩父線）	小川町	近世	当初、片状石灰岩の存在から古墳時代後期の古墳とされていたが、調査の結果近世の塚と確認され、また塚造営以前の溝跡も検出した。
336	諏訪木遺跡II	2007	県道（熊谷羽生線）	熊谷市	縄文～古墳	今回の調査では縄文時代晩期を主体とする集落が検出され、竪穴住居跡16軒のほか土壇・炉跡・配石遺構などが出土。また、遺構分布のあり方から、居住区域と墓域など、生活空間の利用形態が注目される

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
337	森脇遺跡	2007	県道（中瀬普濟寺線）	深谷市	平安～近世	平安時代の住居跡12軒のほか溝跡・井戸跡・土壌などを検出。本遺跡を同じ自然堤防上の南側に隣接し、古墳時代～平安時代の集落として知られる矢島南遺跡との関連が注意される。
338	荒川附遺跡Ⅱ	2007	国道（122号バイパス）	蓮田市	縄文～平安	今回の調査では古墳時代及び奈良時代を中心に竪穴住居跡65軒の他、鉄鋸を出土した鍛冶工房や土師器焼成壇など貴重な遺構を検出。また、掘立柱建物跡が1棟も検出されなかったことから、「工人集落」的な様相が認められる。
339	久台遺跡Ⅲ	2007	国道（122号バイパス）	蓮田市	縄文・古墳	本遺跡は、縄文時代後～晩期の集落遺跡として知られており、今回の調査でも縄文時代後期・晩期の集落が調査区の南北に分かれて検出されたほか、希少な動物形土製品が出土。また、古墳時代前期の方形周溝墓群を調査。
340	西浦／野本氏館跡／山王裏／銭塚	2007	国道（407号バイパス）	東松山市	弥生～古墳	弥生時代末～古墳時代初頭の遺構が西浦遺跡・野本氏館跡から検出され、居住域と墓域を分けた集落景観が明らかになった。野本氏館跡の調査では中世の溝跡4条を追加し、そのあり方から鎌倉街道上道との関連が注目される。山王裏遺跡では、溝跡11条を検出。銭塚遺跡でも、平安時代の住居跡のほか溝跡10条が検出され、山王裏遺跡とともにその性格が注意される。
341	馬場裏遺跡Ⅲ	2007	学校（進修館高校）	行田市	縄文～中世	今回の調査では縄文時代～中世の遺構が検出されたが、特に、わずか826㎡の調査区から縄文時代前期前半の住居跡10軒がまとまって検出されたことや、第4号住居跡をはじめ極めて大量の土器が出土した点は特筆される。
342	戸宮前Ⅱ/在家Ⅱ	2007	国道（圏央道）	川越市	旧石器～縄文・中世・近世	在家遺跡からは、旧石器時代～縄文時代及び中・近世の遺構を検出。旧石器時代では石器集中3ヶ所、礫群3基を検出し、黒曜石主体の石器群が出土。戸宮前館跡は15世紀を主体とする遺跡で、掘立柱建物跡を中心に区画を意識した溝跡や柵列などの遺構が多数検出されたことから、当時の建物の配置などが明らかになってきた。
343	九宮1／九宮2	2008	国道（圏央道）	菖蒲町	縄文・古墳	九宮1遺跡では縄文時代中期終末、九宮2遺跡では縄文時代後期と古墳時代前期の住居跡が発見された。また、九宮2遺跡では古墳時代では珍しい祭祀跡も見つかっており、1m四方の範囲から同じ作りの小型土器が集中して出土した。
344	日枝神社遺跡	2007	県道（川越越生線）	川越市	古墳・中世	調査面積116㎡と狭い範囲ながら、古墳時代前期の竪穴住居跡や中世の溝跡などが発見された。特に溝跡は、上幅約2.5mのV字状で12～13世紀の資料が出土しており、同じ頃にこの地に館を構えた河越氏との関係が注目される。
345	社前／八日市Ⅱ	2007	県道（深谷妻沼線）	深谷市	奈良・平安	幅4m前後、総面積500㎡と細長い範囲ながら、竪穴住居跡（8世紀後半～9世紀）7軒のほか溝跡・土壌など多くの遺構が発見された。また、発見例の少ない弥生中期初頭の土器も検出され、今後の資料の増加が期待される。
346	夏目／夏目西／弥藤次	2007	県道（藤岡本庄線）	本庄市	古墳	古墳時代中期後半を主体とする集落遺跡。3遺跡で50軒の竪穴住居跡が発見され、炉からカマドへの移行期の実態が明らかになった。また、夏目西遺跡1号住居跡からは滑石製白玉が大量に出土しており、玉作工房跡の可能性が高い。
347	八木上遺跡Ⅲ	2007	国道（圏央道）	狭山市	縄文	縄文時代前期後葉の竪穴住居跡2軒が発見された。また、直径1mほどの掘り込みに石を詰めた集石土壌5基が検出され、うち1基からは炭化したクルミが出土している。
348	釣上碇遺跡	2008	岩槻南部新和西特定土地区画整理	さいたま市	平安～中世・近世	平安時代から中・近世の集落遺跡。特に、中世から近世にかけて続いた屋敷跡の井戸跡からは、曲物に木製の柄を差し込んだ柄杓がほぼ完全な姿で発見された。
349	神ノ木2遺跡	2008	国道（圏央道）	菖蒲町	縄文・古墳	縄文時代中期には108軒の竪穴住居跡のほか掘立柱建物跡も16棟見つかっており、当時の拠点的な集落と思われる。また、古墳時代中期～後期では、古墳跡4基のほか土壇墓7基も発見され、そのうち第107号土壇からは、鉄剣・鉄刀・鉄鏃などの副葬品が出土した。
350	駿河台遺跡	2008	県道（所沢堀兼狭山線）	所沢市	旧石器	11ヶ所の石器集中と礫群2基が確認され、ナイフ形石器やスクレーパーなど253点が出土した。また、縄文時代早期の土器も出土しており、今まで不明な点の多かった砂川堀中流域の状況が明らかになってきた。
351	諏訪木遺跡Ⅲ	2008	県道（熊谷羽生線）	熊谷市	弥生～中・近世	縄文時代～古墳時代の集落遺跡で、今回の調査では弥生時代中期～中・近世の集落・墓域などが検出された。弥生時代中期後半の周溝墓や井戸枠に転用された常滑大甕、一括出土した北宋銭などが注目される。また、古墳時代前期の河川跡から出土した「樋部倉矧（ひぶくらはぎ）」と呼ばれる特殊加工の施された壁板は、東日本最古段階の貴重な発見例となった。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
352	木曾免遺跡	2008	国道（圏央道）	坂戸市	弥生	弥生時代中期を主体とする集落遺跡で、環濠に囲まれた集落と隣接する墓域のほぼ全容が把握できた。環濠の内側からは竪穴住居跡のほか土器棺墓や土壇などが検出され、環濠内からは多数の生活用の土器が出土した。また、古墳時代前期の方形周溝墓からは、底部穿孔壺など多数の供献土器が出土している。
353	牛原／御新田／番匠・下道／横沼新田／北谷	2008	国道（圏央道）	川越市 坂戸市	縄文～平安	牛原遺跡：縄文時代中期前半）の集落や後期初頭の敷石住居跡、中世の道路跡などを発見。特に、敷石住居跡には周辺に産しない結晶片岩が敷き詰められており、当時の遠距離輸送のあり方が注目される。 御新田遺跡：縄文時代を中心とする集落遺跡で、牛原遺跡と同じ中期前半のほか早期前葉や前期の竪穴住居跡などを検出。 番匠・下道遺跡：縄文時代及び平安時代を主体とする集落遺跡。施釉陶器や硯、多くの壺甕類が出土。 横沼新田遺跡：平安時代を主体とし、番匠・下道と同一の集落と判明。 北谷遺跡：古墳時代前期の大型方形周溝墓を発見。
354	宮廻館跡Ⅱ	2008	国道（圏央道）	川越市	中世	15世紀後半を中心に存続した館跡で、二重の堀と土塁を巡らした防御的な主郭を中心とする。今回の調査で、主郭の西側にも張り出し部をもつ区画の広がり確認された。また、堀底のピットから北宋銭を中心とする766枚の古銭が一括出土しており、中世銭貨流通を考える上で貴重な資料となる。
355	大木戸遺跡Ⅰ	2008	大宮西部土地区画整理	さいたま市	旧石器～弥生・近世	大宮台地の西縁に立地する遺跡で、旧石器時代から近世の複合遺跡。旧石器時代は、大宮台地で発見例の少ない後期旧石器前半の石器群が出土。縄文時代は、中期末～後期初頭の柄鏡形住居が多数検出され、うち1軒は平坦な礫が敷かれた敷石住居跡。弥生時代は、後期の住居跡が11軒検出され、うち1軒からは一括廃棄されたと思われる土器が19個体まとまって出土している。
356	小林八束1／小林八束2	2008	河川改修（元荒川／小林調節池）	菫蒲町	縄文・古墳	小林八束1遺跡では、縄文時代後期の住居跡2軒・土壇7基が検出され、筒形土偶が出土。また、古墳時代前期の住居跡10軒と方形周溝墓3基のほか、古代と思われる炭焼窯が調査された。 小林八束2遺跡では、炉穴29基が検出され、縄文時代早期の土器が出土している。
357	松原前遺跡	2008	主要地方道（川越坂戸毛呂山線）	鶴ヶ島市	縄文・中世・近世	入間台地上の遺跡で、550㎡という狭い範囲から縄文時代前期の住居跡2軒のほか江戸後期の溝跡や土壇が検出された。特に、住居跡は黒浜式期のもので、市域では初出。
358	まます遺跡Ⅱ	2009	河川改修（葛川）	毛呂山町	平安～近世	まます遺跡は、これまで9次の調査で縄文時代と平安時代の集落跡が検出されており、今回は平安～中・近世の遺構が調査された。特に平安時代は、住居跡7軒と溝跡1条が検出され、住居跡からは「王」「春」の墨書土器のほか、灰釉陶器・鉄斧・刀子などが出土した。
359	銭小田遺跡／伝旧不動寺跡	2009	ホンダ新工場建設	寄居町	縄文・中近世	外秩父山地の東端に位置する鷲丸山の尾根上の遺跡。銭小田遺跡からは、縄文時代中期後半（加曾利EⅠ式）の住居跡1軒が検出されたほか、黒曜石の原石が出土。伝旧不動寺跡からは溝跡・井戸跡・建物跡などが検出された。不動寺本体ではなかったものの、それに関連した施設と思われる。
360	東野／平沼一丁田	2009	国道（圏央道）	川島町	縄文・古墳・中世・近世	東野遺跡では、地表下約4.5mから縄文時代前期終末の集落が検出され、貴重な調査例となった。平沼一丁田遺跡は、縄文時代中期、古墳時代前期、中・近世の複合遺跡で、古墳時代前期では周溝状遺構や柱根の残る掘立柱建物跡などが調査されている。
361	反町遺跡Ⅰ	2009	高坂駅東口第二特定土地区画整理	東松山市	弥生～中世	弥生時代中期から中世にいたる竪穴住居跡117軒・方形周溝墓7基・古墳跡12基をはじめとする多数の遺構・遺物が出土。特に、住居跡の1軒は水晶製勾玉・碧玉製管玉の製作工房であることがわかった。また、流路跡からは多量の土器・木製品が出土しており、岸边には「神矢」「弓」「三田万呂」「飯万呂」などの墨書土器や雁股鍬を用いた古代の祭祀跡が検出された。
362	安養寺古墳群	2009	主要地方道（鴻巣羽生線）	鴻巣市	古墳・中世・近世	古墳時代前期の方形周溝墓3基と円形周溝墓2基を検出。うち方形周溝墓1基には主体部が残存しており、鉄製の短剣やガラス小玉が出土した。また、周溝からは底部穿孔の壺形土器をはじめ多数の土器が出土している。
363	古里古墳群駒込支群	2009	主要地方道（熊谷小川秩父線）	嵐山町	古墳・近世	駒込支群は、比企丘陵の北東端に分布する古里古墳群の中でも最大規模の支群で、これまで26基の円墳が確認されていたが、今回の調査で新たに1基の円墳（6世紀前葉）を追加することとなった。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
364	むじな塚遺跡	2009	共同住宅建設	寄居町	縄文・近世	これまで9次にわたる調査が実施され、縄文時代前～中期と古墳時代後期の集落が確認されている。今回は縄文時代中期勝坂期後半の住居跡6軒を調査。掘り込みはほとんどなく出土遺物は少ないが、住居跡に囲まれた中央部に集石土壌5基を検出。何れの礫も被熱し、赤く変色している。
365	元宿遺跡	2009	国道（圏央道）	川島町	古墳～近世	周囲を河川に囲まれた低地部の自然堤防上に営まれた集落。古墳時代前期の周溝状遺構は方形周溝墓群と地域を分けて分布。また、方形周溝墓の1基からは構内土壌を検出。遺跡名との関連は不明だが、中・近世では集落域が拡大している。
366	清河寺前原遺跡	2009	大宮西部特定土地区画整理	さいたま市	旧石器・縄文・中世・近世	旧石器時代では4枚の文化層（第3～10層）が確認されており、特に第4文化層（後期旧石器時代前半）では、狭い範囲に11ヶ所の石器集中が環状に検出。また、出土石器1,400点中1,000点が良質な黒曜石で、多くの接合資料が得られた。
367	宮町遺跡	2010	さいたま地家裁熊谷支部庁舎建設	熊谷市	奈良・平安・中世・近世	奈良・平安時代では24軒の竪穴住居跡のほか、特に四面庇付の掘立柱建物跡の近くに完存率の高い坏類を一括廃棄した土壌を複数検出。「上家」「楊井」の墨書土器出土。中世では、断面箱薬研状の溝跡を検出し、熊谷氏館跡との関連がうかがえる。
368	上早見新田西遺跡	2010	県道（六万部久喜停車場線）	久喜市	縄文・近世	縄文時代後期初頭（称名寺式）の竪穴住居跡5軒のほか、後期初頭～前葉の土壌13期と近世の溝跡2条を検出。住居跡の掘り込みは確認できなかったが、土壌の内2基は袋状土壌で、多量の称名寺式土器を出土。
369	銭塚2／城敷1	2010	高坂駅東口第二特定土地区画整理	東松山市	弥生～近世	銭塚遺跡は古墳時代中期～平安時代の集落で、特に4×3間総柱構造の第18号掘立柱建物跡が目される。破格の規模と構造で、畿内産土師器が出土。城敷遺跡は古墳時代を中心とし、集落内の大溝跡（河川流路）が特徴的。大溝内からは多量の遺物と祭祀跡が検出。特に、須恵器樽型はそうや多様な木製品が目される。
370	道仏上/道仏北/伝承旗本服部氏屋敷跡	2010	主要地方道（新橋通り線）	宮代町	縄文・中世・近世	近世主体の道仏上遺跡と谷を隔てて東側に対峙する道仏北遺跡では、縄文時代前期中葉の住居跡を5軒検出した。伝承旗本服部氏屋敷跡では、今回の調査で大規模な堀跡の他土壌・井戸跡・掘立柱建物跡などが検出された。堀跡は中世まで遡る。
371	中道／中道下遺跡	2010	都市計画道路（岡通線）	朝霞市	縄文～平安	縄文時代中期末用～後期前葉の住居跡4軒、弥生時代後期の住居跡16軒のほか、古墳時代後期1軒と奈良・平安時代5件の竪穴住居跡を調査。特に、弥生時代の集落は、この地域の中核的集落と思われ、主軸方向から2グループに分けられる。
372	菱沼／明戸東Ⅱ	2010	県道（深谷飯塚線）	深谷市	古墳～平安	両遺跡とも布沼低地内の自然堤防上に立地し、奈良時代を中心に、古墳時代末から平安時代にかけての集落が検出された。
373	前原／大沼	2010	国道（圏央道）	桶川市	旧石器・縄文・古墳・中世・近世	前原遺跡は、縄文及び古墳時代の集落遺跡。特に、縄文前期末の土器が逆位で出土した土壌は、甕被り葬と思われ、注目される。また、古墳時代前期の水晶の玉作り工房は、東松山市反町遺跡とともに関東最古級の調査例。大沼遺跡は、中・近世を主体とする遺跡で、大溝から多量の陶磁器が出土。
374	西別府館跡	2010	県道（新堀尾島線）	熊谷市	奈良・中世・近世	奈良時代を主体とする遺構を検出。周辺には、郡家跡とされる幡羅遺跡や西別府廃寺、西別府祭祀遺跡など古代幡羅郡の中核となる遺跡があり、本遺跡はその周縁部に広がる集落と位置づけられる。
375	川越田遺跡2	2011	河川改修（女堀川）	本庄市	古墳・古代～近世	古墳時代前期と古墳時代後期の二面の調査で、計103軒の竪穴住居跡を検出。特に、多量の遺物が出土した第51号住居跡（前期）では、他地域の系譜をひく土器が目される。古代以降では、条里制に伴う溝跡や畠跡を検出。
376	皂樹原・檜下	2011	施設（榎ワンピシアーカブズ）	神川町・上里町	縄文・奈良・平安・中世以降	奈良・平安時代の大規模集落や鍛冶工房跡、土師器窯跡および中世の館跡などを検出。「冨」「中」「成」等の墨書土器が出土。館跡は「阿保境の館跡」と呼ばれ、規模は一町半四方を超える。
377	野中・瘻（こぶ）ヶ谷戸	2011	国道（254号猪俣バイパス）	美里町	縄文・古墳・中近世	野中遺跡は、古墳前期・奈良・平安時代を主体とし、古墳前期の土器の廃棄をともなう祭祀的な遺構を検出。瘻（こぶ）ヶ谷戸遺跡では、縄文中～後期の土器片が多量に出土。
378	東原	2011	主要地方道（飯能寄居線）	毛呂山町	縄文・奈良・平安・中近世	毛呂山台地上に立地し、奈良・平安時代を主体とする集落を検出。中・近世では、銅製錫杖頭が出土。
379	大山（第13・14次）	2011	県立精神医療センター	伊奈町	奈良・近世	大山遺跡は、縄文～近世の複合遺跡で、特に古代の製鉄炉や炭焼窯の調査で知られる。本調査では、奈良時代の住居跡から多量の製鉄関連遺物が出土。
380	反町Ⅱ	2011	施設（ユニー）	東松山市	弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世	弥生～古墳前期の拠点集落。玉作り工房跡やガラス小玉鋳型が出土。河川跡からは堰跡や大量の木製品が出土。古墳後期には前方後円墳を中心に多数の円墳が検出され、各種の埴輪も出土。
381	中尾	2011	主要地方道（飯能寄居線）	毛呂山町	奈良・平安・近世以降	奈良・平安時代の集落跡を検出。平安時代の住居跡の1軒から検出された鍛冶工房跡は毛呂山町初出。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
382	城敷Ⅱ	2011	土地区画整理（高坂駅東口）	東松山市	古墳・中近世	古墳時代の大規模な集落遺跡で、集落内の大溝からは多量の土器や木製品とともに祭祀跡も発見。また、古墳時代中期後半以降の滑石製品の工房跡2箇所を検出。
383	代正寺Ⅱ／大西Ⅱ	2011	国道（407号）	東松山市	古墳・中近世	代正寺遺跡では古墳跡2基が検出され、うち1基は高坂古墳群第49号墳であることを確認。大西遺跡では前回調査で未発掘のカマド部分を調査した。
384	三竹	2011	河川改修（入間川）	川島町	古墳・奈良以降・中近世	今回の調査では5基の古墳跡が発見され、うち1基には二重の周溝が検出された。円筒埴輪・形象埴輪が出土。
385	富田後	2011	国道（圏央道）	川島町	縄文・古墳・中近世	古墳時代前期を中心とする遺跡で96基の「周溝状遺構」が検出された。また、7基の方形周溝墓は標高の高い部分に構築されている。
386	塚原古墳群	2011	施設（特別支援学校）	深谷市	古墳・中近世	今回の調査では、古墳時代後期の古墳跡2基が調査され、円筒埴輪が出土。また、立会調査で7基の古墳跡を確認。他に中世の竪穴状遺構1基を検出。
387	番戸	2012	道路改築整備	長瀬町	縄文・古墳・奈良・平安・中近世	古墳時代～中・近世の集落跡で、平安時代の土壌から墨書のある須恵器が出土。また、中・近世の遺構からは、青銅製の錘や火縄銃の玉が出土。
388	船原・内郷通／内郷／窪	2012	道路整備	行田市	縄文・奈良・平安・中近世	船原・内郷通・内郷遺跡は、奈良～中・近世の集落跡で、奈良時代の竪穴住居跡3軒を検出。中・近世の遺構からは板碑が出土。
389	向／十二天／青柳古墳群南塚原支群／皂樹原Ⅱ	2012	農業水利事業（神流川）	本庄市／神川町	旧石器・縄文・古墳・平安・中近世	4遺跡は、県北西部の児玉地域に位置する遺跡群。向井・十二天遺跡は、平安時代の集落跡で竪穴住居跡16軒を検出。特に則天文字に類する特殊文字を用いた朱書土器は注目される。また、青柳古墳群の一面から、前期の方形周溝墓2基を検出。
390	新田東	2012	地方特定道路（飯能寄居線）	毛呂山町	縄文・近世	縄文時代中期の環状集落で75軒を検出。集落中央には土壌群と掘立柱建物跡がまとまって検出された。また、北側斜面に大量の遺物が集中する廃棄場を確認。
391	皿沼西／戸森前	2012	河川工事	深谷市	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・近世	古墳～平安時代の集落跡。古墳時代前期のいわゆる『初期カマド』を持つ竪穴住居跡を調査。また、検出された建物跡に弘仁9年の大地震の痕跡が確認できた。
392	大山遺跡（第12次）	2012	県立がんセンター	伊奈町	古墳・奈良・平安	奈良・平安時代の製鉄遺跡として知られており、今回の調査で製鉄炉9基・鍛冶工房跡3軒・粘土採掘坑3ヶ所・排滓場5ヶ所などを検出。
393	反町Ⅲ	2012	土地区画整理（高坂駅東口）	東松山市	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中近世・その他	弥生時代～中世の複合遺跡で、古墳時代前期が中心。弥生時代は、住居跡26軒と後期前半のまとまった資料。古墳前期の水晶・緑色凝灰岩の玉作工房跡を検出。
394	前谷	2012	住宅（戸田市内）	戸田市	古墳・平安・中近世	古墳時代前期～中・近世の集落跡。特に古墳時代前期では、居住施設の一部と考えられる周溝状遺構6基を検出。
395	桜山Ⅱ	2012	県立循環器・呼吸器病センター	熊谷市	縄文・古代	縄文時代の集石遺構と土壌を検出。集石遺構は前期初頭と思われる、内部からは被熱した礫と石器片が出土。
396	南原	2012	共同住宅建設	戸田市	古墳・平安・中世	古墳時代から中世にかけて断続的な集落跡。古墳時代中期の住居跡の床面から高坏6個体がまとまって出土。
397	立原小路	2012	県道（坂本寄居線）	寄居町	縄文・近世	縄文時代中期の、石囲い炉を中心とした円形の敷石住居跡1軒を調査。県内でも最も古い事例の一。近世は、土壌・溝跡・井戸跡などを検出。
398	下野田稻荷原Ⅱ	2013	国道（463号）浦和インターチェンジ	さいたま市	縄文・古墳・平安・中世	古墳時代前期・平安時代・中世の集落跡で、土壌・溝跡などを検出。
399	氷川神社Ⅱ	2013	街路整備（川越上尾線）	川越市	古墳・近世～近代	古墳時代前期の土壌、近世以降の建物跡等を調査。建物跡は、19世紀後半の礎石立建物跡で、向きを揃えて2棟検出された。
400	川越田Ⅲ	2013	河川改修（女堀川）	本庄市	古墳・古代・中世～近世	古墳時代を主体とする集落跡。特に、古墳時代後期の祭祀跡からは手捏ね土器約130個が出土し、県内でも希少な調査例。他に臼玉・鉄鏃などが出土。
401	下田	2013	坂戸西スマートインターチェンジ建設	坂戸市	古墳・平安・中近世	古墳時代の集落と平安時代の水田跡を検出。水田跡は入西条里の一部と考えられ、入西条里が本遺跡を含む葛川の東にまで広がっていたことを確認。
402	代正寺Ⅲ／大西Ⅲ	2013	県道（岩殿観音南戸守線）	東松山市	弥生・古墳・平安・中世・近世	代正寺遺跡では弥生時代の住居跡・方形周溝墓の他環濠の可能性のある溝跡を検出。大西遺跡では、平安時代の住居跡から大量の緑釉・灰釉陶器が出土。
403	高麗石器時代住居跡	2013	国道（299号）	日高市	縄文・中近世	縄文時代中期の国指定史跡として知られるが、平成20・23年度調査で、同期の住居跡が新たに13軒追加され、環状集落の形態をもつことが確認された。
404	天神台東	2013	河川改修（越辺川）	鳩山町	縄文・弥生・奈良・平安・中近世	縄文前期黒浜式期の大型住居跡を検出。弥生後期初頭の集落跡から岩鼻式土器古段階の良好な資料が出土。中世の井戸跡4基は石組・木組を良好に残す。
405	大木戸Ⅱ	2013	土地区画整理（大宮西部）	さいたま市	旧石器・縄文・古墳・近世	旧石器時代終末期の石器が出土。縄文時代後期前～中葉の集落跡を調査し、多量の土器が出土。古墳時代初頭の方形周溝墓を4基検出し、うち3基で主体部を確認。
406	高木道下（C-99号）／高木道下北	2013	土地区画整理（大宮西部）	さいたま市	旧石器・縄文・中世・近世	高木道下遺跡では、縄文前期～後期の集落を調査し、特に前期末の住居跡を検出。高木道下北遺跡では、中世末の土壌から鉄鍋の鋳型が出土。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
407	八條	2013	河川改修（中川）	八潮市	平安・中世・近世	平安時代の住居跡から、官人の腰帯具である丸鞆・蛇尾や置きカマドが出土。中世の土壌墓からは同安窯系青磁や刀が出土。
408	外東Ⅱ	2014	さいたま築堤	さいたま市	古墳・奈良・近世	古墳時代初頭の周溝状遺構群が検出。第1次調査と合わせて20軒以上の大規模な集落であったことを確認。
409	諏訪北Ⅰ／諏訪北Ⅱ ／諏訪南／二ツ家下	2014	国道（圏央道）	桶川市/ 北本市	縄文・平安・中近世	諏訪北Ⅰ・Ⅱ、諏訪南では縄文時代及び中・近世の集落を調査。特に中世の地下式竈や、大規模な薬研堀を検出。二ツ家下遺跡では中山道に面した屋敷地を調査。
410	諏訪野Ⅰ	2014	国道（圏央道）	桶川市	縄文・近世	縄文時代を主体とする集落跡。特に、検出された44軒の住居跡は中期中葉～後葉に属し、外径約180mの環状集落を構成すると考えられる。
411	荒川附Ⅲ	2014	県道（上尾蓮田線）	蓮田市	古墳・古代・中近世	奈良・平安時代を主体とする遺跡で、土師器を焼いた土器焼成遺構や鍛冶工房跡を検出。
412	宝蔵寺／新井宿上一 斗葺／東町裏	2014	県道（さいたま鳩ヶ 谷線）	川口市	縄文・中世・近世	中世～近世を主体とする遺跡群で、日光御成街道の建設・整備に関わる遺構や遺物が出土。
413	長竹Ⅰ	2014	堤防強化（加須・羽 生・久喜）	加須市	縄文・古墳・古代・ 中近世	縄文～近世の複合遺跡で、本書では遺跡南半部分について扱う。環状盛土遺構周辺の縄文晩期集落と古墳時代以降の畠跡・集落などを報告。
414	南台	2014	浄水場工事	春日部市	縄文	前期黒浜式期の住居跡1軒を検出。また、住居内貝層を詳細に検討した結果、少なくとも2箇年にわたる採取が推定される。
415	西吉見条里Ⅱ	2015	河川改修（市野川）	吉見町	古墳・古代・中近世	古墳時代の溝跡の他、古代の水田跡や溝跡が検出され、条里制との関連性を検討する手がかりが得られた。
416	清左衛門	2015	河川改修（隼人堀 川）	白岡市	縄文・中近世	縄文時代前期～晩期の集落遺跡。特に、4箇所検出された後・晩期の水場遺構は注目される。3号水場遺構からは、ほぼ完形の舟形木製品が出土。
417	宮前	2015	都市計画道路環状1 号線	小川町	縄文・古代・中世	奈良時代の竪穴住居跡2軒を検出。住居跡からは、土師器（北武蔵型坏・暗文坏など）の他、南比企産・湖西産の須恵器が出土。
418	浅間下	2016	堤防強化（幸手市 外）	春日部市	縄文・平安・近世	縄文～近世の複合遺跡。縄文時代中期後半の住居跡が8軒、小竪穴状遺構が37基検出された。小竪穴状遺構には墓壇に転用されたものがあり、底面には土器が敷き詰められていた。
419	榎野地原	2016	堤防強化（幸手市 外）	幸手市	縄文・古墳・中近世	縄文時代、古墳時代、中近世の集落跡。縄文時代の土壌から地点貝塚が検出された。
420	川崎（第41次）	2016	街路整備	ふじみ野 市	縄文・奈良・近世	縄文～近世にかけての複合集落で、今回の調査では縄文、奈良、近世の遺物や遺構が検出された。縄文時代早期の住居跡と、同時期の炉穴が至近距離から検出された例は県内でも少ない。
421	榎野地Ⅱ	2016	国道（県央道）	桶川市	縄文・古墳・近世	縄文時代中期の住居跡は直径18mの環状集落を構成するものとみられる。住居の軒数が多く、密度も高い。また、個々の住居の遺存状況はきわめて良好である。
422	屋敷裏	2016	堤防強化（加須・羽 生）	羽生市	縄文・弥生・古墳・ 平安・中近世	縄文～古墳時代、平安時代の集落跡が発見された。古墳時代の住居跡からは、脚付長頸壺・短頸壺などが出土。平安時代の住居跡からは国内最古級の鉄製口琴が出土した。
423	浦山城跡	2016	土砂採取	皆野町	中近世	戦国時代の山城である浦山城跡は、標高500～530mの尾根の頂部を削平して主郭を造り、郭を挟んだ東西両側に堀切が掘られている。今回の調査では堀切の東側から平場2箇所と炭焼窯跡2基が検出された。
424	大平遺跡	2016	国道（上尾道路）	桶川市	縄文・古墳・平安・ 中近世	天正18年頃、徳川家康に従って関東に入り、石戸領を知行した牧野氏の陣屋に関連する区画溝と、附属する寺院施設「見樹院」に関わる遺構が検出された。土壌墓からは牧野氏家紋の「三つ柏」紋をもつ漆製品が出土している。火葬遺構からは炭化穀物塊（おにぎり）が出土し、その内部から永楽通寶6枚が見つかった。
425	北坂遺跡Ⅱ	2016	寄居PAスマートイ ンタチェンジ建設	深谷市	旧石器・縄文・平 安・中近世	松久丘陵上に立地する北坂遺跡（第2次調査）では、後期旧石器時代前半期の石器集中23箇所が検出され、ナイフ形石器、台形様石器、搔・削器等の石器群が出土した。頁岩と珪質頁岩は、石核に剥片が多数接合し、当該期の剥片剥離工程を解明するのに重要な資料を提供した。
426	北坂遺跡Ⅲ	2016	寄居PAスマートイ ンタチェンジ建設	深谷市	旧石器・縄文・中近 世	北坂遺跡（第3次調査）では、旧石器時代の遺物が、上下2つの異なる層位から検出された。上層からは後期旧石器時代後半期の石器集中2箇所が検出され、ナイフ形石器、搔・削器等の石器群が出土した。下層からは後期旧石器時代前半期の石刃が単独で出土した。
427	高木稻荷前／高木氷 川	2016	土地区画整理（大宮 西部）	さいたま 市	縄文・古墳・近世	高木稻荷前遺跡では、縄文時代後期初頭の柄鏡形住居跡2軒、古墳時代後期終末の住居跡2軒が検出された。高木氷川遺跡は縄文時代中期後半を中心とした集落跡で、加曽利EⅢ式期の住居跡4軒、土壌3基が調査された。ヒスイ輝石岩製の磨製石斧が出土している。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
428	天神峯遺跡	2016	県道（飯能寄居線）	日高市	縄文・平安・近世	縄文時代の住居跡3軒、集石土壇1基、炉穴3基、土壇14基、平安時代の住居跡4軒、焼土跡5基、近世の土壇60基、溝跡19条、炭焼窯跡1基が検出された。縄文時代の土壇から早期末（打越式期）の尖底羽状縄文土器が出土した。平安時代の住居跡から「賀厨」墨書灰釉陶器碗が出土した。
429	楽中遺跡	2017	国道（上尾道路）	桶川市	旧石器・縄文・古墳・中近世	縄文時代では、早期後葉の条痕文土器を伴う炉穴6基が検出されたほか、前期から後期の住居跡9軒が検出されている。古墳時代では、前期の住居跡が11軒検出され、南関東や東海地方の影響を受けた土器が出土した。後期の住居跡も1軒検出され、カマド内から31点の土玉が出土した。切石切組積横穴式石室を埋葬施設とする古墳跡（樋詰6号墳）からは、環付足金具を装着した大刀が出土した。
430	前領家遺跡	2017	国道（上尾道路）	桶川市	縄文・古墳・平安・中近世	縄文時代中期末葉～後期初頭（加曾利EⅢ～EⅣ式期）の住居跡8軒が検出された。柄鏡形住居跡が多く、炉体土器や埋甕を伴う。古墳時代では前期の住居跡1軒を検出した。平安時代では、9世紀後葉から10世紀前葉の住居跡15軒が検出された。住居跡からは鍛冶炉や関連遺物が出土し、鉄製品の出土も多い。
431	中平遺跡	2017	寄居PAスマートインタチェンジ建設	寄居町	旧石器・奈良・平安・近世	松久丘陵から分離した諏訪山の南面する斜面地に形成された奈良・平安時代の集落跡である。竪穴住居跡・掘立柱建物跡が建物の方向を揃えて配置された、計画性の高い集落と考えられる。平安時代の住居跡から鍛造・鑄造炉が発見され、坩堝・鑄型・鍛造剥片などが出土している。
432	楽上Ⅰ／楽上Ⅱ／薬師堂／石神Ⅰ／石神Ⅲ	2017	国道（上尾道路）	桶川市／上尾市	縄文・古墳・奈良・平安・中近世	楽上遺跡・楽上Ⅱ遺跡では古墳時代前期の住居跡が検出され、集落の西限が確認された。薬師堂遺跡では、大量の板碑片を出土する区画溝が検出され、『新編武蔵風土記稿』に伝わる「西光寺」との関連が窺われる。石神遺跡・石神Ⅲ遺跡からは、奈良時代から平安時代の住居跡が検出され、「物」、「(物)部坏」と書かれた墨書土器が住居跡から出土した。
433	中井遺跡	2017	国道（上尾道路）	上尾市	縄文・古墳・奈良・中近世	中井遺跡は、縄文時代中期から後期（勝坂～加曾利E式期）の住居跡が78軒検出され、拠点的な環状集落であることが明らかになった。古墳時代では7世紀前葉の住居跡が2軒、奈良時代では8世紀中葉の住居跡が6軒検出された。
434	榎野地北遺跡	2017	堤防強化（幸手市）	幸手市	縄文・古墳・奈良・平安・中近世	縄文時代では、早期後葉の炉穴や前期諸磯式期の住居跡、黒浜式期の地点貝塚が確認された。古墳時代では、53軒の住居跡が検出された。前期の大型住居跡は1辺13mを超える県内最大級の規模を誇る。奈良・平安時代については新治窯・湖西窯など他地域の須恵器が出土し、国境地域における活発な交流が推定される。
435	伊勢塚遺跡	2018	県道（花園本庄線）	深谷市	古墳・奈良・平安・近世	古墳時代前期の方形周溝墓5基が検出された。このうち第2号方形周溝墓からは、東海地方の土器の影響を受けて在地でつくられた壺・S字状口縁台付甕などが出土した。奈良・平安時代では土壇から丸瓦が出土している。
436	栗橋関所番士屋敷跡	2018	堤防強化（久喜市）	久喜市	近世	寛永元年（1624年）に設置された利根川の渡し場、房川渡しの関所、栗橋関所に勤番した番士（加藤家、足立家、島田家）の具体的な生活の様相が明らかにされた。屋敷跡に現在認められる盛土が、18世紀前半以降の洪水対策として徐々に高く造成され、建物が度々建て替えられていた様相が判明した。遺物には、加藤家屋敷跡の盛土中から古拳銃が出土した。
437	西浦遺跡Ⅲ	2018	国道（407号）	東松山市	中世	中世の竪穴状遺構2基、溝跡4条、土壇29基、ピット211基が検出された。土壇の中には銭貨を副葬した墓跡と考えられるものがある。ピットからは礫や板状の石が検出されており、根石の可能性もある。遺物は13世紀代の手づくねかわらけのほか、青磁、白磁の小片がある。
438	茂手木遺跡	2018	堤防強化（羽生市）	羽生市	古墳・平安・近世	利根川沿いの自然堤防上に立地し、古墳時代の畠跡や平安時代の集落跡が検出された。平安時代には当初は畠として利用されていたが、9世紀中頃からは集落域に変遷したことが明らかになった。武蔵国内で生産された須恵器のほかに、隣接地域で生産された土器が多数出土している。京都産の緑釉陶器や底部に「寺」と墨書された墨書土器が出土した。
439	米の宮遺跡	2018	堤防強化（羽生市）	羽生市	古墳・平安・中近世	古墳時代前期の住居跡1軒、平安時代の住居跡4軒、土壇1基が検出されたほか、中世では掘立柱建物跡9棟をはじめ、その周囲に柵列跡や井戸跡、溝跡、竪穴状遺構といった各種遺構が発見された。このうち第7号掘立柱建物跡は四面廂のつく桁行6間×梁行2間の大型建物である。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
440	長竹遺跡Ⅱ	2018	堤防強化（加須市）	加須市	縄文	縄文時代後・晩期に形成された環状盛土遺構の南側から検出された遺構・遺物についての報告である。盛土遺構の遺存状況は極めて良好であった。盛土の径は190mに及び、関東地方有数の規模である。第43号住居跡は一辺12mの「大形竪穴建物址」で床面が焼土で覆われていた。多くの祭祀遺物が出土している。
441	長竹遺跡Ⅲ	2018	堤防強化（加須市）	加須市	縄文	環状盛土遺構の北側から検出された遺構・遺物についての報告である。縄文時代後・晩期に営まれた住居跡は盛土の最も標高が高く、狭い範囲に集中していた。盛土の内縁側で検出された晩期の土壌墓群は規格性のある配置が窺われる。
442	小林八束1遺跡Ⅱ	2018	河川改修（小林調節池）	久喜市	縄文・古墳・中近世	縄文時代後期後半から晩期にかけて盛土が形成され、盛土内からは住居跡や土壌が検出された。谷を挟んだ盛土の北側では、晩期の祭祀遺物集中地点と土器集中地点が検出された。祭祀遺物集中地点では、土偶やミニチュア土器、石器などが出土した。ミミズク土偶は、大型中空に加え、中実小型のものも多い。隣接する土器集中地点とあわせ、祭祀のあり方を復元する上で貴重な調査事例といえる。
443	赤砂利／宿赤砂利	2018	河川改修（隼人堀川）	久喜市	縄文・奈良・中近世	赤砂利・宿赤砂利遺跡は、白岡市を横断する隼人堀川左岸に広がる遺跡である。縄文時代では、中期後葉（加曾利E式期）の住居跡36軒が発見された。また集落内に土壌のみが分布するエリアがあることから環状集落の可能性も考えられる。奈良時代では、8世紀後半の住居跡1軒が検出された。
444	大木戸遺跡Ⅲ	2018	土地区画整理（大宮西部）	さいたま市	縄文	大木戸遺跡第18・20次調査区は、台地上の縄文時代後期前葉から中葉にかけての集落下に広がる滝沼川によって形成された低湿地遺跡である。調査区からは同時期の多量な土器群及び木製品類が出土した。縄文時代後期堀之内2式から加曾利B2式期までにほぼ限定された土器群や各種の木器・木製品類、特に赤漆塗り漆器が多量に出土している。
445	大木戸遺跡Ⅳ	2018	土地区画整理（大宮西部）	さいたま市	縄文・古墳・平安・近世	大木戸遺跡の第6・10～17・19・21次調査の報告である。縄文時代では早期の炉穴や中期末葉から後期初頭の住居跡などが調査されている。古墳時代では前期初頭を中心とする住居跡が検出された。近世では、各調査区から掘立柱建物跡や土壌、井戸跡、溝跡などの遺構や遺物が出た。
446	北島XⅣ	2018	施設（ラグビー場建設）	熊谷市	古墳・平安・近世	北島遺跡は、利根川と荒川に挟まれた熊谷扇状地の扇端部に形成された自然堤防上に立地する。第25次調査では、古墳時代前期から平安時代の集落跡が検出された。古墳時代では、前期の住居跡から滑石性の管玉、臼玉がまとまって出土した。7世紀後半から8世紀初頭の遺物集中区からは大量の土器が出土した。古墳時代後期の畠跡も検出されている。
447	毛長沼外瓦A	2018	住宅（草加市内）	草加市	古墳・平安	中川低地の南部に位置し、入間川の旧河道である毛長川の左岸自然堤防上に立地する。古墳時代と平安時代の遺構・遺物が出た。古墳時代は併行する2条の溝跡が検出され、中期を中心とした遺物が出た。平安時代は埋まりきっていなかった古墳時代の溝を掘り直した溝跡が検出され、9世紀後半を中心とした遺物が出た。
448	栗橋宿跡Ⅰ	2018	堤防強化（久喜市）	久喜市	近世	栗橋宿跡の調査は、第1地点から第9地点に分けて実施されている。本書は第1・3地点の調査成果で、吉田家水塚の石垣と盛土、栗橋宿の町屋部分を調査した。堤防強化事業に先立ち吉田家水塚は移築されており、移築後の水塚の石垣と盛土を調査し、土留めの構造が明らかになった。町屋部分では、町屋の区画を示す杭列や、火災の後片付けをしたと考えられる土壌などが検出された。
449	東畑	2018	堤防強化（羽生市）	羽生市	中近世	中世の井戸跡からは割れた板碑の上に重ねられたかわらけや石臼・焼石、散乱した種実類が出た。近世では、道路跡と屋敷の区画溝が検出されている。溝跡は天明3年（1783）に噴火した浅間山由来の火山灰を含む洪水砂によって埋没しており、洪水被害によって廃絶を余儀なくされたことがわかった。その一方で、洪水砂へ対処するための天地返しが行われた災害復旧痕も確認されている。
450	旧利根川堤防跡	2019	堤防強化（加須市）	加須市	中近世	15世紀～16世紀後半にかけて営まれた集落や墓域と、その後に築堤された堤防跡が検出された。中でも人骨を伴う100基を超える土壌墓群は注目される。井戸跡からは、廃棄された板碑や五輪塔、宝篋印塔がまとまって出土した。旧堤防跡は1、6世紀末に築堤され、拡幅を繰り返しながら、長期間機能したことが明らかになった。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
451	栗橋宿本陣跡Ⅰ	2019	堤防強化（久喜市）	久喜市	近世	日光道中の宿場「栗橋宿」の本陣跡を含む遺跡で、19世紀前半の遺構を中心とする第一面と、18世紀以前の遺構を中心とする第二面を調査した。本陣跡の南側に隣接する、町屋地区推定地における調査成果を収録する。第一面で町屋の敷地境と考えられる杭列、木樋、溝跡が検出されたが、第二面の調査では明確な敷地境は検出されなかった。19世紀前半のいずれかの段階で、敷地境の施設が整備されたことが判明した。
452	栗橋宿跡Ⅱ	2020	堤防強化（久喜市）	久喜市	近世	栗橋宿跡第2・4地点の調査では、宿場の店舗や住宅の跡、用水に使われた樋などが検出された。町屋部分では、町屋の区画を示す溝跡や木樋、火災後の跡片付けをしたと考えられる土壌などが検出されている。陶磁器や木製品、布、鍛冶関連の遺物が数多く出土した。
453	北島XV	2019	施設（ラグビー場建設）	熊谷市	古墳・平安・中近世	北島遺跡第26～28次調査では、古墳時代後期から平安時代を主体とする集落跡が検出された。高い微高地上には住居跡が激しく重複して造られ、その周囲には畝や溝跡が掘られ、僅かな高低差を巧みに利用した当時の土地利用が明らかになった。平安時代の墓跡には、円形の区画溝を周囲に巡らせた木棺墓と蔵骨器に収められた火葬墓、土壌墓の3種類の埋葬施設が見つかった。幅6mの両側に側溝もつ道路跡も検出された。路面には波板状圧痕が残されていた。
454	中通南	2019	橋りょう掛替（行田市市内）	行田市	古墳・中近世	戦国時代に石田三成が忍城水攻めのために築いた「石田堤」の一部が検出された。盛土中には古墳時代の土器や埴輪などの破片が含まれており、周辺の遺跡の覆土や古墳の墳丘が築堤の際に利用された状況を、具体的に示すことができた。
455	樋ノ口	2019	堤防強化（加須市）	加須市	縄文・平安・中近世	縄文時代の包含層から縄文時代晩期末の土器が出土した。平安時代では10世紀前半を中心とした住居跡と、土師器の焼成土壌が検出された。当期の土師器生産の様相を表すものとして注目される。
456	栗橋宿跡Ⅲ	2019	堤防強化（久喜市）	久喜市	近世	栗橋宿跡第6地点の調査では、町屋の裏に立ち並ぶ土蔵の跡と、敷地境を示す杭列・溝跡などが検出された。船材を転用した「木製樹形穴蔵」は県内初の調査例として注目される。遺物は国産陶磁器が多くを占めるが、ヨーロッパ産や中国産の陶磁器類も含まれていた。
457	小林八束1遺跡Ⅲ	2019	河川工事（久喜市）	久喜市	縄文・古墳・中近世	第3・4次調査の報告である。縄文時代では、後期を中心とする集落跡が検出され、谷に堆積した包含層から深鉢や注口土器、土製品などの多数の遺物が出土した。古墳時代では、前期の集落跡と、それらを壊して造られた方形周溝墓が検出された。谷に下る傾斜面からは同じ時期の木組遺構が検出され、鋤や鋤、竪杵、横槌などの木製品が出土した。
458	栗橋宿跡Ⅳ	2019	堤防強化（久喜市）	加須市	近世	栗橋宿跡第7地点の調査では、町屋部分から土蔵と考えられる建物跡や多数の土壌が検出された。土壌の中には火災の後片付けに使われたものがあり、出土遺物のほとんどが被熱していた。また、信楽系陶器の葉茶壺や、「油屋幸七殿行」「茶四升」と書かれた木札が同じ土壌から出土しており、江戸期の絵図にある「茶屋」と「幸七」との関係が考えられる。
459	稲荷台Ⅳ	2020	堤防建設（上尾市）	上尾市	縄文・古墳・近世	第4～8次調査の報告である。旧石器時代後期の石器集中と礫群が検出された。縄文時代では早期から中期の集落跡が検出され、谷に形成された遺物包含層からは、ほとんど類例のない晩期最終末の土偶が出土した。古墳時代では前期の住居跡と土壌墓が、近世では屋敷の区画溝と屋外炉である焼成遺構が検出された。
460	栗橋宿本陣跡Ⅱ	2020	堤防強化（久喜市）	久喜市	近世	遺跡北側の本陣敷地推定値における調査成果を収録する。本陣の敷地である調査区東側では建物跡の一部が検出された。西側は本陣の店子を使用した空間と考えられる。広域にわたり焼土層と火災処理に係る土壌が検出された。組物の陶磁器が複数出土した土壌があり、本陣で保管していた陶磁器が被熱し廃棄されたものと推定される。中国清朝磁器や色絵鍋島の皿も含まれており、本陣の備品を窺い知ることができる。
461	長竹Ⅳ	2020	堤防強化（加須市）	加須市	縄文	縄文時代後・晩期に形成された環状盛土遺構の南盛土内から出土した遺構に属さない遺物に関する報告である。遺物には日常生活で使われていた膨大な量の土器・石器・骨角器と、祭祀遺物である土偶・石棒、装飾品の耳飾りなどがある。また、加工痕のある土製品が大量に出土した。用途不明なため土製円盤として掲載したが、特徴的な遺物の一つといえる。
462	長竹5※	2020	堤防強化（加須市）	加須市	奈良・平安・中近世	環状盛土遺構の埋没後に形成された、奈良・平安時代と中・近世の遺構と遺物に関する報告である。平安時代では10世紀代を中心とした集落跡が検出された。過去の成果と合わせて、あまり調査例のなかった県北東部における平安時代中期のムラの様相が明らかとなった。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
463	栗橋宿V	2020	堤防強化（加須市）	加須市	近世	栗橋宿跡第5地点・本陣跡第5次調査では、日光道中の一部とみられる道路跡が検出された。道路跡は東西に走行し、南北を木樋で区切られていた。複数の硬化面や並列する木樋が検出されたため、道路は補修と整地が繰り返されていたと考えられる。遺物では、土壌から「天狐」とみられる木製神楽面が出土した。
464	新井堀の内	2020	道路建設（蓮田杉戸線）	蓮田市	縄文・中近世	中世では館を区画する堀跡や掘立柱建物跡・井戸跡・地下式坑などが検出された。埋蔵銭を埋めた遺構が4基検出され、そのうち1基から埋設された当時の状態で埋蔵銭が発見された。容器（常滑焼甕）には緑泥片岩製の石蓋が置かれ、口縁には木簡が掛かった状態で発見された。埋蔵銭の時期は15世紀代と考えられる。
465	向原A/芦荻場	2020	開発事業	飯能市	縄文・中近世	芦荻場遺跡は縄文時代中期の環状集落で、中期中葉の住居跡80軒がいくつかのブロックに分かれて検出された。勝坂式期から加曽利EⅢ式期への移行期の住居跡が存在する点は注目される。また、屋外調理施設と考えられる集石土壌が88基検出され、土掘り具である打製石斧が大量に出土している。
466	上宿	2021	道路（国道254号）	志木市	古代・中近世	中世では薬研堀をめぐる空間に、井戸跡や土壌、多数の柱穴が検出された。出土遺物から16世紀後半には屋敷地の成立が想定される。溝跡や井戸跡には二次利用された板碑が廃棄されており、宗教的空間が存在していたことを示し、文献にみえる『宗岡宿』の様相を知ることができる。
467	宮西Ⅰ/宮東Ⅰ	2021	堤防強化対策	加須市	古墳・古代	宮西遺跡では、9世紀中葉から後半の短期間に営まれていた平安時代の集落が検出された。宮東遺跡では古墳時代中期（5世紀前半）から平安時代（10世紀前半）まで、断続的に集落が営まれていた。古代の確認面からは、地震で発生した液状化現象である噴砂の痕跡が多数検出された。
468	北二丁目陣屋跡	2021	堤防強化対策	久喜市	近世	往昔の栗橋宿北端部に位置する。建物跡や杭列などが全く検出されなかったことから、町屋ではなく、牛頭天王社（現在の八坂神社）の境内地であった可能性が高い。流路跡から出土した納め太刀は、現在の大山阿夫利神社へ奉納されたもので、栗橋宿内で大山参詣が行われていたことを示す貴重な資料である。
469	沢口	2021	道路（県道深谷嵐山線）	深谷市	縄文・中近世	縄文時代では中期末の加曽利EⅢ式期を主体とする遺物包含層や住居跡・土壌などが検出された。中世では前半期に造営された溝跡に囲まれた4棟の建物群と、井戸跡や土壌などから構成される屋敷跡の一部が検出された。
470	油面	2021	工業団地（嵐山）	嵐山町	縄文・古代・中近世	縄文時代では、前期後葉の諸磯式期の住居跡が4軒検出された。平安時代では9世紀後半の住居跡と炭焼窯跡が検出され、住居跡からは土製・石製の紡錘車や袋状鉄斧が出土した。
471	本田	2021	堤防強化対策	加須市	近世	水塚盛土と蔵跡、水塚上に造られた建物跡などが検出された。建物跡は4間×2間半の身舎に東西と南に庇または下屋が取り付く。二階建ての可能性を持つ居住用施設である。蔵跡は幕末から明治時代初頭、建物跡は19世紀末頃建設されたと推定される。調査例の希少な水塚の実態を知る貴重な資料を得ることができた。
472	古里古墳群清水支群	2022	宿舍改修工事（嵐山郷）	嵐山町	古墳	古里古墳群清水支群は、嵐山郷敷地内に4基の古墳が確認されている。今回の調査では古墳時代後期の溝跡や土壌などが検出された。第1号溝跡は14mにわたって直線的に延びる溝跡で、土師器甕が投棄されたような状態で出土した。
473	栗橋宿跡Ⅵ	2022	堤防強化対策	久喜市	近世	第8地点の調査では、第一面（19世紀後半以降）から、町屋の裏に建つ土蔵跡と、杭列などの敷地境の施設が検出された。第三面（18世紀前半以前）では、多量に出土した羽口や鉄滓、検出された小鍛冶遺構から鍛冶屋の存在が示唆された。18世紀前葉以前の遺構群から出土した遺物は、栗橋宿跡の空白期間を埋める貴重な資料となった。
474	栗橋宿跡Ⅶ	2022	堤防強化対策	久喜市	近世	第9地点第一面（19世紀前葉以降）の報告である。町屋の裏に立ち並ぶ土蔵跡と、並行する敷地境の溝跡が検出された。この区画は絵図と対照すると「旅籠屋七兵衛」の区画であり、建物跡もこれに関連する施設と考えられる。土壌から火災処理に伴う被熱した陶磁器が出土した。とくに、「十錦手」といわれる清朝磁器がまとまって出土した事例は地方の近世遺跡では稀有な例である。
475	宮西Ⅱ/宮東Ⅱ	2022	堤防強化対策	加須市	中近世	両遺跡からは井戸跡が多量に検出された点が注目される。宮西遺跡では井戸跡は近接し一部で重複しており、限られた範囲に掘削を繰り返した様子が見える。一部の井戸跡からは、埋戻しの際に投棄したとみられる板碑や石臼が出土した。

集	書名	発行年	事業	市町村	主な時代	概要
476	小林八束1Ⅳ	2022	河川改修（小林調節池）	久喜市	縄文・古墳・古代・中近世	第5～7次調査の報告である。縄文時代では、台地側で後期前葉の集落跡が検出され、東の谷には後期前葉から晩期中葉頃の木組施設など、水場を維持するための多様な痕跡を確認した。古墳時代では、前期の集落跡と方形周溝墓群が検出され、重複関係から居住地から墓域へと変遷したことが確認された。また、台地の縁辺で古代の炭焼窯跡4基を検出した。
477	北大竹	2022	工業団地（行田富士見）	行田市	古墳・古代	6世紀中頃から7世紀にかけて、祭祀関連とみられる遺物が集中した地点が3箇所確認された。主に甕を中心とした須恵器と、大量の土師器や鉄製品とともに、多数の子持勾玉を用いる点が大きな特徴である。馬具や単鳳環頭大刀が出土している点も注目される。周辺に展開する若小玉古墳群との関連性が想定される。
478	越谷警察署前	2022	警察（越谷警察署仮設庁舎）	越谷市	古代・近世	近世では井戸跡2基、土壇11基、畝状遺構12条などが検出された。出土遺物は17世紀後半～18世紀頃が主体となる。井戸・土壇と畑を取り込んだ屋敷地の一部であった可能性がある。
479	栗橋宿西本陣跡Ⅰ	2023	堤防強化対策	久喜市	近世	日光道中7番目の宿場「栗橋宿」の町屋跡。調査区北側の調査成果を収録した。19世紀前葉以降を中心とする第一面、18世紀中～後葉を中心とする第二、第三面に分けられる。検出された土壇には、火災に関わる廃棄物処理したものがみられた。この火災は史料にみえる文政五年（1822）の栗橋宿大火と推定され、栗橋宿の変遷を考えるうえでの定点資料と位置付けられる。遺物は、少量の中国産磁器のほか、国産陶磁器が多量に出土し、組物も多く検出された。近世における地方宿場町の実態を示す良好な資料である。
480	北2丁目陣屋跡Ⅱ	2024	堤防（利根川）	久喜市	近世	往昔の栗橋宿北端部に位置する。陣屋の名を冠するが、神社に関連する遺構や遺物が確認され、八坂神社境内の主要部であることが明らかになった。19世紀中葉以降の第一面からは社殿基礎を検出し、大掛かりで堅固な基礎地業が行われていることがわかった。一方で、18世紀後葉～19世紀初頭の第二面からは、神社に関連する遺構は検出できなかった。よって、当該地に存在した境内は19世紀初頭以降から整備され、それ以前には別の場所にあった可能性が高い。
481	栗橋宿西本陣跡Ⅱ	2024	堤防（利根川）	久喜市	近世	日光道中7番目の宿場「栗橋宿」の町屋跡。調査区南側の成果を収録した。主に18世紀中～後葉に比定される第三面では、整地層の直下に堆積していた砂層下の造成土より、18世紀前葉を下限とする遺物が出土した。砂層は、寛保二（1742）年もしくは宝暦二（1752）年の洪水に由来する可能性がある。遺物は、少量の中国産磁器、多量の国産陶磁器、組物のほか、土器類では在地の製品が多く認められ、多種多様な一括遺物は、近世における地方宿場町の実態を示す良好な資料である。
482	栗橋宿跡Ⅷ	2024	堤防（利根川）	久喜市	近世	主に、18世紀後葉から19世紀前葉に比定される第二面についての報告である。検出遺構は土壇が主体であり、その多くは廃棄土壇であった。この内、方形、もしくは長方形の平面形態を呈する土壇の多くが、災害時の片付け土壇であったと考えられ、街道に対して、平行、もしくは直交する軸線をもって掘られていた。また、第414号土壇は、街道側から土手側に向けて、破損した家屋の部材や生活材を巻き込んで土砂が流入した、水害の痕跡であると推察された。
483	長竹遺跡Ⅵ	2024	堤防（利根川）	久喜市	近世	縄文時代後晩期に形成された環状盛土遺構の北側盛土上に位置する遺構や、そこから出土した遺物を対象とした報告である。本報告をもって長竹遺跡に関する報告は完了した。北盛土で発見した住居跡は、盛土の最も高い位置に集中していた。また、晩期に比定される墓壇は規格性が高く、盛土の内縁斜面に整然と構築されていた。